

平成 28 年度

金沢市埋蔵文化財調査年報

平成 29 年 4 月

(2017 年)

金 沢 市

(金沢市埋蔵文化財センター)

例 言

1. 本書は、金沢市文化スポーツ局文化財保護課および金沢市埋蔵文化財センターが平成 28 年度に行った埋蔵文化財保護行政の概要、成果および結果を公表することを目的として刊行するものである。
2. 本書は、平成 28 年度に実施した埋蔵文化財の発掘調査、分布調査、および教育・普及・啓発活動に関することを中心に編集したものである。
3. 本書に掲載した埋蔵文化財の遺構・遺物等の写真は、それぞれの担当者が撮影した。
4. 各遺跡の遺跡番号は石川県遺跡・文化財情報システム（平成 25 年度版）及び金沢市遺跡地図に準拠している。

目 次

| | |
|-----------------|----|
| 1. 埋蔵文化財発掘調査等事業 | 1 |
| 2. 埋蔵文化財分布調査事業 | 19 |
| 3. 教育・普及・啓発活動事業 | 28 |
| 4. 組織 | 39 |

1. 埋蔵文化財発掘調査等事業

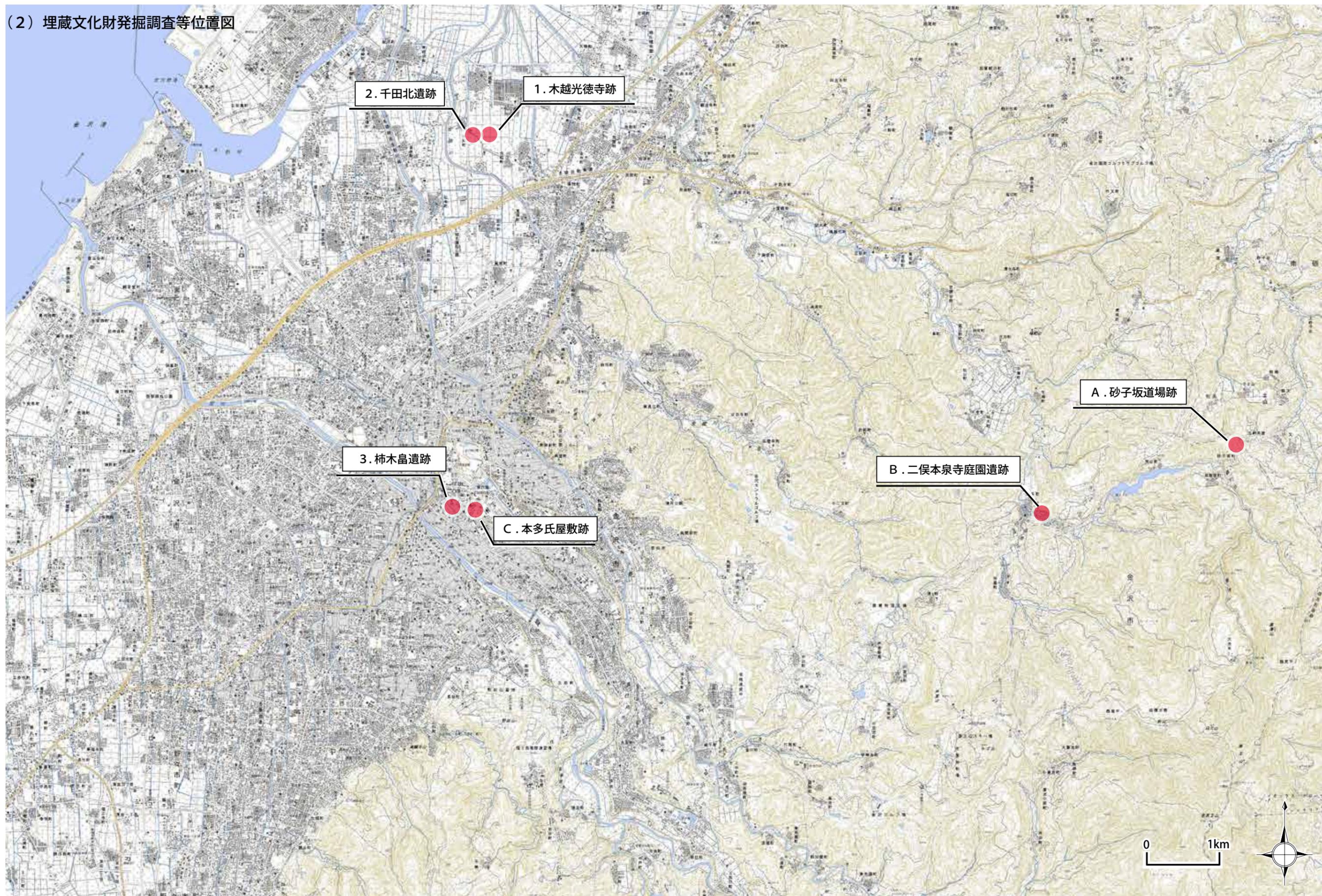
(1) 埋蔵文化財発掘調査等一覧

| No. | 調査地 | 調査面積 | 調査原因 | 調査期間 | 立地 | 経費(千円) | 出土遺物数 | 時代 | 主な遺構 | 主な遺物 |
|---------------|----------------------|--------|----------------|---------------------------|------|---------------------------|-------|----------------|--------------------------------|------------------------------------|
| 緊急発掘調査 | | | | | | | | | | |
| 1 | きごしこうとくじあと 木越光徳寺跡 | | | | | | | | | |
| | 金沢市 木越町地内 | 2,750㎡ | 道路築造 (公 共) | 20160530 ～ 20160829 | 沖積地 | 55,740 (千田北遺跡と 合算) | 21箱 | 奈良・平安 鎌倉 室町 | 掘立柱建物 川跡 区画溝 井戸 土坑 | 須恵器 土師器 陶磁器 木簡 銅銭 |
| 2 | せんぼきたいせき 千田北遺跡 | | | | | | | | | |
| | 金沢市 千田町地内 | 1,995㎡ | 道路築造 (公 共) | 20160905 ～ 20161219 | 沖積地 | 55,740 (木越光徳寺跡と 合算) | 40箱 | 古代・中世 | 掘立柱建物 竪穴状 建物 井戸 ビット 土坑 溝 | 土師器 須恵器 陶磁器 木製品 金属製品 |
| 3 | かきのきばたけいせき 柿木畠遺跡 | | | | | | | | | |
| | 金沢市 柿木畠地内 | 1,620㎡ | 市庁舎建築 (公 共) | 20160613 ～ 20170426 | 河岸段丘 | 77,000 | 350箱 | 江戸 | 掘立柱建物 礎石建 物 土台建物 井戸 溝 土坑 | 近世陶磁器 土器 瓦 石製品 金属製品 木製品 建築部材 |

| No. | 調査地 | 調査面積 | 調査原因 | 調査期間 | 立地 | 経費(千円) | 出土遺物数 | 時代 | 主な遺構 | 主な遺物 |
|-------------|---|------|---------------|---------------------------|------|-----------------|-------|----|------------------|------------------------|
| 学術調査 | | | | | | | | | | |
| A | すなござかどうじょうあと でんこうとくじちく でんぜんとくじちく か が いてこういつきかんれんいせき ことう 砂子坂道場跡 (伝光徳寺地区・伝善徳寺地区) 【加賀一向一揆関連遺跡と古道】 | | | | | | | | | |
| | 金沢市 砂子坂町地内 | 125㎡ | 学術調査 (公 共) | 20161114 ～ 20161222 | 丘陵 | 4,127 (Bと合算) | 1箱 | 中世 | 堀 火事片付け土坑 造成土 | 中世土師器 陶器 磁器 土製品 石製品 |
| B | ふたまたほんせんじていんいせき か が いてこういつきかんれんいせき ことう 二俣本泉寺庭園遺跡 【加賀一向一揆関連遺跡と古道】 | | | | | | | | | |
| | 金沢市 二俣町地内 | 24㎡ | 学術調査 (公 共) | 20161114 ～ 20161222 | 丘陵 | 4,127 (Aと合算) | 1箱 | 中世 | 園池 | 中世土師器 陶器 近世磁器 石製品 |
| C | かなぎわじょうかまちいせき ほんだしやしきあとちく 金沢城下町遺跡 (本多氏屋敷跡地区) | | | | | | | | | |
| | 金沢市 本多町三丁目地内 | 10㎡ | 学術調査 (公 共) | 20161017 ～ 20161024 | 台地斜面 | 2,802 | 1箱 | 近世 | 石垣 道跡 | 近世陶磁器 土器 瓦 |

※「出土遺物数」は容量36ℓのコンテナケースに換算した数量である。

(2) 埋蔵文化財発掘調査等位置図



(3) 埋蔵文化財発掘調査概要

1. 木越光徳寺跡

(遺跡番号 県：146800 市：468)

所在地：金沢市木越町地内

北緯 36° 36′ 50″

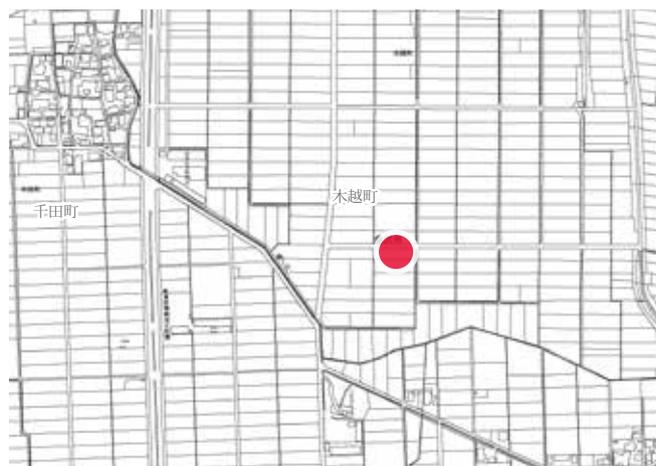
東経 136° 37′ 40″

調査面積：2,750㎡

種別：社寺跡か

主な時代：奈良、平安、鎌倉、室町

担当：景山 和也



■ 遺跡の概要

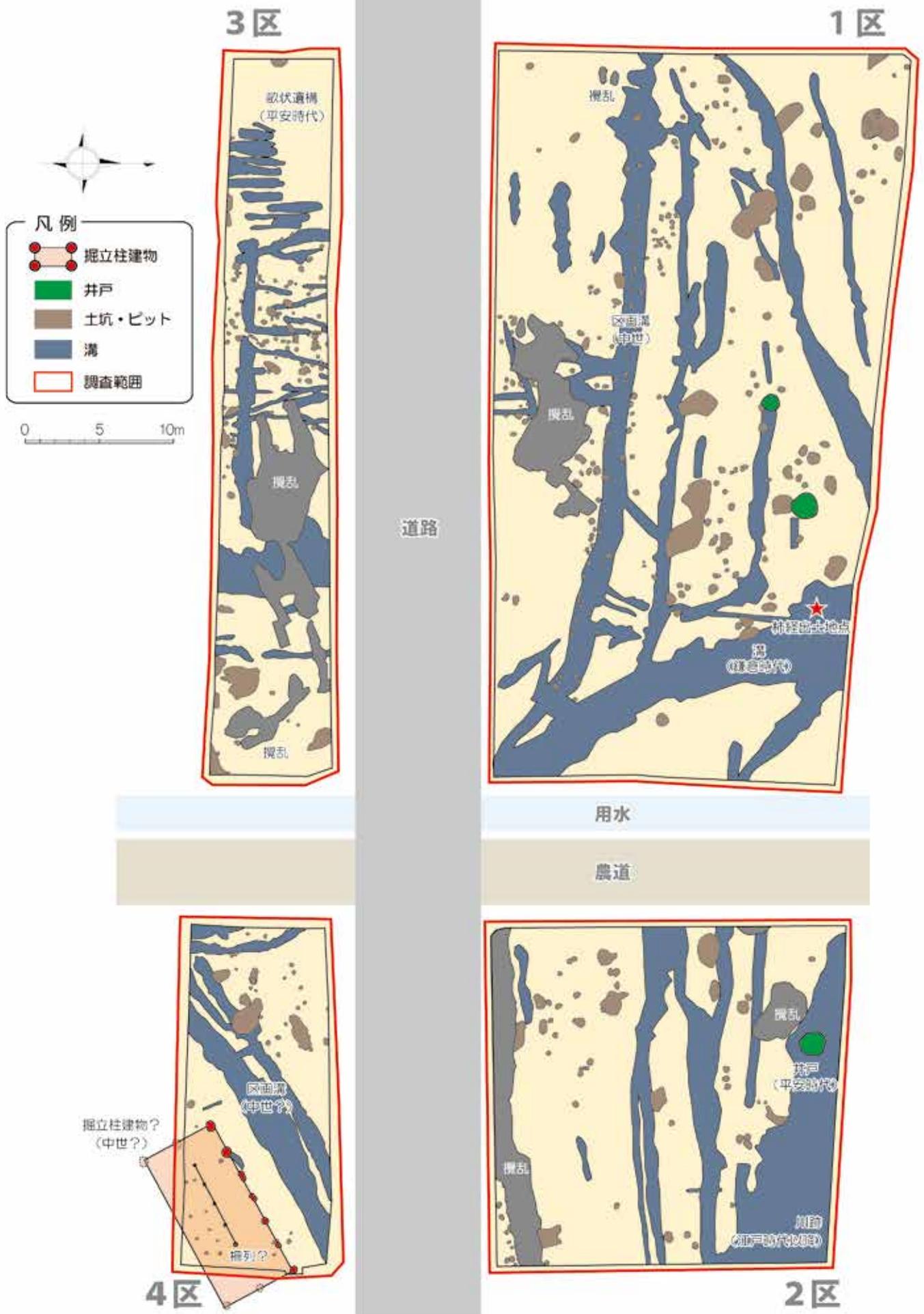
金沢市では平成 26 年度から都市計画道路（金沢外環状道路）木越福増線築造工事に先立ち、木越町地内で木越光徳寺跡の発掘調査を行っている。今回の調査は平成 26 年度調査区の東側に隣接する約 2,750㎡が対象である。

木越光徳寺は、15 世紀後半、北陸における真宗本願寺派の布教活動が活発化する中で中心的役割を担った。長享 2 年 (1488)、本願寺派の坊主・門徒らが時の守護富樫政親を高尾城で自害させた、世に言う「長享の一揆」は、加賀に一向一揆の国を樹立させることとなるが、その主要構成員の中には木越光徳寺をはじめとした河北郡の坊主・門徒衆が多く含まれていた。木越光専寺、木越光琳寺を含め、のちに「木越三光」と呼ばれた三寺は、元亀 3 年 (1572) に加賀の一向一揆勢力と越後の上杉謙信との合戦が開始されると、寺の周囲に堀を整備して河北瀧の水を引き込み、要塞と化したといわれる。天正 8 年 (1580) には加賀攻略を狙う織田信長軍との主戦場となり、激しい攻防を繰り広げた。佐久間盛政、長連龍に攻め入れられ、激戦の末同年 3 月に陥落した。現在、木越集落の西を流れる血の川の名称は、討ち死にした兵士の血で赤く染まったことに由来するとされ、往事の凄惨な光景を今に伝えている。

平成 28 年度調査区は既存農道及び水路によって 4 区に分かれており、平安時代から室町時代までの遺構と遺物が検出されている。1 区では 13 世紀代の青磁を伴う流路から柿経 4 点が出土した。頭部の形状はやや異なるものの、いずれも法華経の一説が記されており、法量及び筆致など共通点が多く一連のものと考えて差し支えなからう。このほか、平安時代に属する縦板組式の井戸 2 基が検出されている。2 区では平安時代の縦板組式井戸がみつき、内面黒色土器碗 3 個体分が出土している。うち 1 個体は吉祥句「福家」墨書をもち、井戸を埋める際の祭祀を示すと考えられる。

3 区では平成 26 年度調査検出のものに関連する畝状遺構がみつかり、畑作の痕跡であろう。4 区では、北東－南西方向に軸を採り直線的に走る区画溝と覚しき溝状遺構が 2 条並列して走り、それと軸を合わせた径約 0.5 m、深さ約 0.6 m 規模の柱穴が 6 間分確認されている。対応する柱穴は調査区外のためか確認されていない。大規模な側柱建物あるいは柵列と考えられる。

延べ約 10,000㎡にわたる発掘調査は終了したが、結論として、明確に寺院跡と断定し得るだけの成果は得られてはいない。平成 26～27 年度で検出された堀跡と覚しき溝の深度が 0.4 m～0.8 m と比較的浅いことを考慮すれば、当時の生活面が現代に至るまでに大規模な削平を受け、寺院遺構が滅失したとも考えられるが、その判断は今後の出土遺物の整理と併せて慎重に行っていきたい。



木越光徳寺跡 遺構概略図 (S=1/350)



1区全景（北東から）



縦板組式井戸（1区 南から）



木筒（柿経）出土状況（1区）



2区全景（北西から）



平安時代の井戸（2区 西から）



3区全景（北東から）



畝状遺構（3区 南から）



4区全景（掘立柱建物と区画溝 北東から）

2. 千田北遺跡

(遺跡番号 県：159500 市：595)

所在地：金沢市千田町地内

北緯 36° 36′ 51″

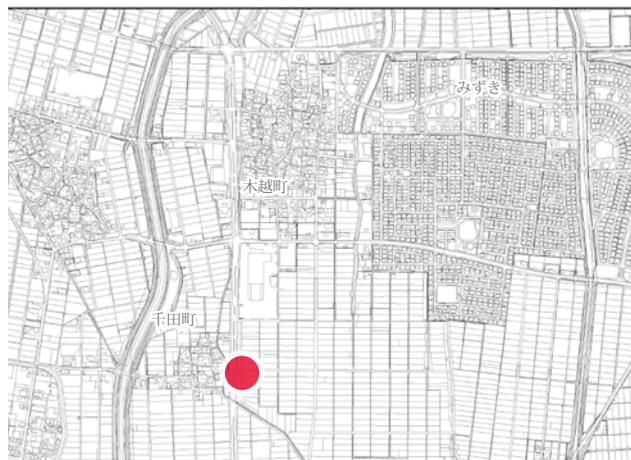
東経 136° 39′ 23″

調査面積：1,995㎡

種別：集落跡

主な時代：奈良、平安、鎌倉、室町

担当：景山 和也、新出 敬子



■ 遺跡の概要

金沢市では平成 25 年から県道木越福増線築造工事に先立ち千田町地内で千田北遺跡の発掘調査を行っている。

千田北遺跡は金腐川に近い低湿地に位置し、地下水位も高く大変湧水の激しい場所である。平成 27 年度には県道の西側を 3,500㎡調査し弥生時代から室町時代までの遺物がみつかった。特筆すべき遺物として弥生時代終末の川跡から出土した銅鏃がある。

今回は県道の東側を 1,995㎡調査した。千田北遺跡の東端で木越光徳寺跡と隣接する部分である。調査区は用排水で分割されており、西側を 1 区、東側を 2 区とした。

検出された遺構は 1 区では掘立柱建物 2 棟、井戸跡 1 基、土坑 1 基、溝 17 条、柱穴 47 基等が検出された。このうち溝 4 条は直線的で直角に交わることから区画を呈する可能性が高い。2 棟の掘立柱建物もこの区画溝に平行に並ぶことから同時期の建物跡と考えられる。

1 区出土の遺物は網代編みの帽子風の製品や漆器、木簡、人形、舟形、土師器、珠洲焼、青磁、白磁、銅銭等である。

2 区でみつかった遺構は掘立柱建物 15 棟、竪穴状遺構 3 棟、井戸跡 10 基、土坑 20 基、溝跡 28 条、柱穴 300 基以上を検出した。建物は概ね中世に属すると考えられるが、建物の主軸の方向から 5 つの時期に分かれると思われる。溝は 1 区の続きと考えられるものが 2 条ある。井戸は曲物の井戸枠を持つ物が 5 基あり、うち 1 基には周囲に縦板を方形に組んだものもあった。また、SE01 と SE09 は 2 区の東端に並ぶ井戸であるが、これらの井戸には大量の土師器皿と木製の箸が廃棄された形跡が認められた。饗宴で使用された物であろうか。その他 2 区から出土した遺物は土師器皿、須恵器、陶磁器、木製品等がみついている。

今回の調査では特に 2 区に遺構が集中的にみつき、1 区では集落の外縁部の区画溝が確認された。時期は出土遺物から平安時代～鎌倉・室町時代であると考えられるが、遺物量から鎌倉・室町時代が主体をなすと考える。来年度の調査で 1 区の北側と県道を挟んで東側を調査する予定なので、区画溝の続きや区画溝より東側の様相が明らかになるであろう。



作業風景



左：掘立柱建物 右：区画溝（1区 北から）



溝出土 転読札（1区）



溝出土 網代製品（1区）



調査区全景（2区 南東から）



井戸（2区 北から）

3. 柿木島遺跡

(遺跡番号 新発見のため無し)

所在地：金沢市柿木島地内

北緯 36° 33′ 35″

東経 136° 39′ 23″

調査面積：1,620㎡

種別：城下町

主な時代：江戸

担当：庄田 知充、新出 敬子、須貝 杏奈



■ 遺跡の概要

本遺跡は藩政期の絵図では金沢城下町のエリア内にあたる。金沢市第二庁舎築造計画に伴う平成 27 年度の試掘調査で埋蔵文化財が確認されたため、平成 28～29 年度にかけて発掘調査を実施することになった。今年度の調査区は調査対象地の北側および西側にあたる。

本調査地のすぐ北側には西外惣構の堀、すぐ南側には鞍月用水が流れている。鞍月用水は藩政初期までは市街地の西側を流れる犀川の分流だったといわれ、現況地形も調査地内の南辺に向かって地形が段階的に下降している。また、西外惣構の堀は、高低差約 4m の河岸段丘崖裾に沿って流れている。

発掘調査は南西部の A 区、北東部の B 区、北西部東側の C-1 区、北西部西側の C-2 区に分けて実施した。

(1) A 区

周辺の住宅地と比較すると約 1 m の盛土が行われていると考えられるが、盛土下の調査区全体にわたって、江戸時代に行われた厚さ約 1.5m の整地土および遺構覆土が確認された。また、18 世紀半ばの宝暦の大火火災層と推定される焼土層が確認された。調査区は調査地中央を南北に縦断する市道の付け替え計画地のため、東西方向に細長い形状をしており、東西中央付近は 18 世紀半ばまでには整地された状態になっていたが、東・西の両端部では、鞍月用水から取り込んだ曲水と推定される屈曲する水路遺構が確認された。水路遺構の擁壁部分は、焼損痕の残る大形の建築部材（土台、梁等）を積み上げたものや、石積みのもの等、時期によって構造が異なっており、調査区内では 3 時期を経て水路の範囲が、敷地南辺の用水側に移動している。整地層および水路覆土を除去した最下面は、礫層の地山面となっており、地山直上からは石積み列、方形の石積み遺構、3 基の埋め桶が見つかった。出土品は、水路堆積及び埋め土、大火焼土などから、近世陶磁器・土器、木製品が見つかった。

(2) B 区

A 区と比較すると、礫層地山までの深度が浅い。現況地形に小段が見られる B 区南辺付近で鞍月用水に向かって旧地形が下がっていくことが考えられる。掘立柱建物の柱穴、建物の礎石、石組みの土台建物、石組みの井戸、石組みの地下室のほか、小形の方形・円形石組み遺構、石積み列、区画溝と考えられる素掘りの溝、ゴミ穴、石敷き遺構等が確認されたが、とくに 17 世紀前半代の井戸が数多く検出されたことから、寛文期以降の絵図に見られる武家屋敷の屋敷割よりも小区画の居住単位があった可能性がある。出土品はゴミ穴を中心に、近世陶磁器・土器、石製品等がみつかった。

(3) C-1 区・C-2 区

A 区と比較すると、礫層地山までの深度が浅い。小形の方形・円形石組み遺構、池跡と推定され

る石組みを伴う浅い土坑、ゴミ穴、石積み列、石敷き遺構等が確認された。これらの遺構を被覆する形で、瓦が大量に混入する整地層が検出された。

(4) まとめ

調査地である西外惣構の南外側に沿ったエリアは、鞍月用水沿いの帯状の旧河道に沿ったエリアで、とくに調査地南側は犀川の氾濫時に容易に水につかりやすい環境にあったと考えられる。そのため、直臣の武家地ではあるが比較的小区画の屋敷地を拝領した下級武士の居住地とされていた。

寛文年間の絵図をみると調査地周辺は外惣構の外縁に沿って帯状の火除地にされていた。寛永大火を教訓に設けられた、城下中枢部へ延焼が及ばないようにするための緩衝地帯だが、延宝金沢図をみると火除け地の範囲が縮小され、以後中・下級武士の屋敷地へと転換されていく過程がわかる。

発掘調査では、寛文年間以降の武家地の屋敷割を示すと思われる区画溝や段差地形、石積みや石列等の境界施設が検出されている。17世紀前半代の屋敷割は絵図からうかがい知ることができないが、特にB区において当該時期の井戸が多数検出されたことから、絵図に見られる時期よりも細かな屋敷割をもつ居住空間だった可能性がある。



曲水状遺構 (A区)



石積列と方形石組遺構 (A区)



C-2区全景



瓦廃棄土坑 (C-2区)



池状遺構 (C-2区)



石組井戸 (C-2区)

A. 砂子坂道場跡
(伝光徳寺地区・伝善徳寺地区)
【加賀一向一揆関連遺跡と古道】

(遺跡番号 県：153100 153000 市：531 530)

所在地：金沢市砂子坂町地内

北緯 36° 34' 04"

東経 136° 48' 03"

調査面積：95㎡

種別：寺院・城郭跡

主な時代：室町

担当：向井 裕知



■ 遺跡の概要

(1) 加賀一向一揆関連遺跡と古道の概要

北陸は真宗王国と称されるほど真宗の門徒が多く、その礎は中世に遡るが、加賀・越中を結ぶ二俣越の沿道には、二俣本泉寺などの有力寺院や加賀・越中国境付近の金沢市砂子坂道場跡伝善徳寺地区（のちの城端・善徳寺）、同光徳寺地区（のちの福光・光徳寺）、南砺市土山御坊跡（のちの高岡・勝興寺）など、後の有力寺院の元となる道場跡が今も残っている。また、永正の越前一揆（1506年）の後、越前朝倉氏により北陸道が閉鎖されたため、二俣越は加賀より山科本願寺へ至る重要な陸路となる。

このように、加賀一向一揆に関連した寺院等が二俣越沿いに展開しており、現在もその姿を良く留めていることを特徴とする。

(2) 平成25～27年度の調査成果

過年度の調査では、標高約280～340mの約200×600mの範囲で、平坦地・池状の窪み・切岸・堀切・横堀・土塁・喰い違い虎口・石組井戸・石敷き・火事片付け土坑が見つかっており、土師器皿・青磁碗・珠洲焼すり鉢と甕・越前焼すり鉢と甕・石鉢・砥石・土壁等の遺物から遺跡の年代は15世紀後半に位置付けられている。これらは延長800mにも及ぶ一連の堀で区画された範囲に分布することから、便宜上、一帯を砂子坂道場跡（伝善徳寺地区・伝光徳寺地区）と呼称することとした。ただし、長大な堀を持つことから城郭としての機能も併せ持っており、道場跡という名称について検討が必要と考えている。

(3) 発掘調査概要

平成25～27年度の成果を受けて、平成28年度は、堀で区画された範囲の内部構造や堀と内外を繋ぐ虎口の構造、堀の形状、年代幅等を確認することを目的に発掘調査を実施した。

その結果、以下の成果を得た。

O区では新たに中世期の盛土を確認した。盛土によって谷地形を埋立て、平坦地を造成したと考えられ、盛土中から珠洲焼片が出土している。ただし、盛土上で建物遺構などは確認できなかった。

P区では虎口と考えている堀の切れ目部分で、堀端部が盛土による土塁で終わっていることが確認できた。

R・S・T区では中央部付近の堀のルートを確認したが、S区にある段差箇所では堀が明確ではなく、R区で確認した堀は規模が小さいなど、堀の存在を推定できるとどまった。

U区では平成25年度調査で検出した火事片付け土坑を再検出した。出土遺物は、やはり15世紀第3四半期頃に限られており、また盛土造成による平坦地も確認できた。ただし、火事片付け土坑以外の遺構は確認できなかった。

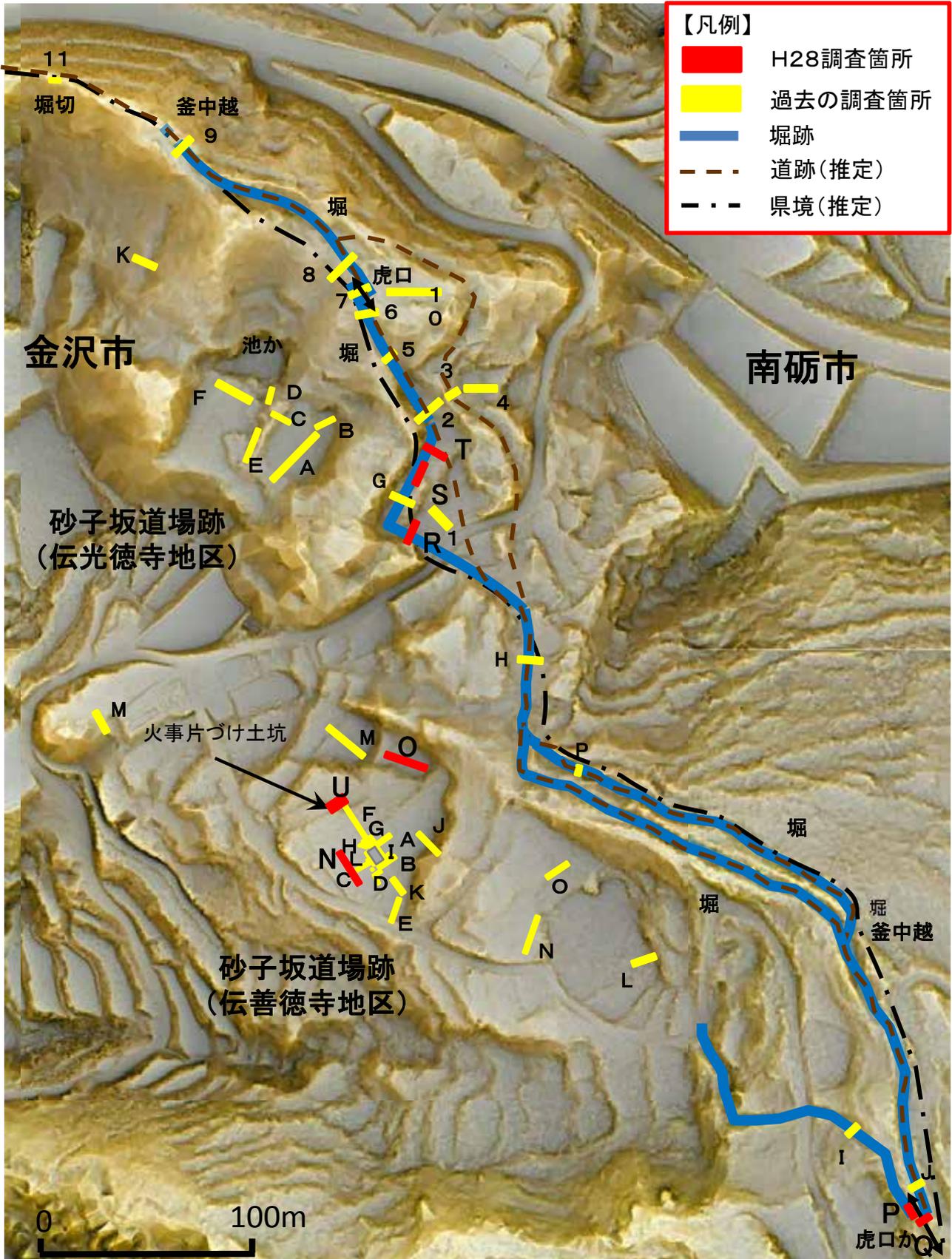
(4) 砂子坂道場跡の位置づけ

本願寺8世蓮如は文明3年(1471)に越前吉崎(福井県あわら市)に吉崎御坊を構える。その際に越中井波(富山県南砺市)の瑞泉寺(本願寺5世綽如創建)を2度訪れており、その行路として、本泉寺のある二俣や砂子坂を通過する二俣越を利用したと考えられる。その道すがら、周覚(越前興行寺開基、綽如3男)が布教していた砂子坂に訪れ、「この地は仏法有縁の土地柄であるから、道場を建立するように」と諭され、周覚の孫にあたる蓮真に付属されたと、南砺市城端善徳寺の縁起は伝えている。南砺市光徳寺に伝わる「砂子坂末寺之覚」には、砂子坂(善徳寺?)の末寺が記載されており、加賀に7ヶ所、越中に14ヶ所の道場名が記されている。加賀の道場所在地としては、小原に1ヶ所、森下(森本)に4ヶ所、福久に1ヶ所、松根に1ヶ所の計7ヶ所であり、北陸道や小原越といった越中へ通じる街道沿いに所在していることがわかる。

善徳寺の移転については、砂子坂から越中の法林寺、山本、福光へと移転を繰り返すが、いずれも二俣から井波への道筋に位置している。蓮如の息子である実悟が作成した『日野一流系図』によると、文明6年(1474)にはまだ砂子坂におり、文明9年(1477)以降に法林寺に移転したことがわかっている。

これまでの調査によって、15世紀第3四半期頃の遺跡であることが明らかとなっており、蓮如が布教した年代と一致している。また、短期間の存続であることも、道場の移転が文明年間に行われたことと合致する。

遺跡の年代や、調査地周辺に残る伝承等から、本遺跡は初期の加賀一向一揆に関する遺跡と推定可能である。また、大野荘年貢算用状に見える「要害」が必要な「河北郡三番山」は後の河北郡砂子坂三番山組衆のことであり、「要害」は砂子坂道場跡を示している可能性がある。このことから、河北郡砂子坂三番山(組)組衆に関する遺跡と推察され、国境に位置することから合力体制との関わりも想定できるといえよう。よって、本遺跡は、初期の加賀一向一揆に関する郡・組体制及び合力体制の実態を考える上で欠かせない遺跡と考えられる。



砂子坂道場跡調査成果立体図



O調査区 平坦地・整地土



Q調査区 道か



U調査区 平坦地・整地土



R調査区 堀か



P調査区 堀・道・土塁



S調査区 堀か



P調査区 堀・道・土塁



T調査区 堀・道

ふたまたほんせんじていえんいせき
B. 二俣本泉寺庭園遺跡
か が いてこういっきかんれんいせき こどう
【加賀一向一揆関連遺跡と古道】

(遺跡番号 新発見のため無し)

所在地：金沢市二俣町地内

北緯 36° 55' 87"

東経 136° 76' 48"

調査面積：18m²

種 別：寺院・庭園跡

主な時代：室町

担 当：向井 裕知



■ 遺跡の概要

(1) 二俣本泉寺の概要

二俣本泉寺は、金沢市の西部、医王山の麓に位置する真宗大谷派の寺院であり、俗に二俣坊とも呼称される。嘉吉2年（1442）、本願寺六世巧如の第三子であり、越中井波瑞泉寺の二世である如乗が二俣の地に開創し、瑞泉寺、本泉寺を兼任した。現在、二俣は山間の小村だが、当時は加賀と越中を結ぶ交通の要衝であった。本願寺五世綽如は、瑞泉寺から京都に向かう途中、この地に草庵を結んで仮の住まいとし、これが後に蓮如によって本泉寺と名付けられたと伝わる。

如乗は本願寺八世蓮如の叔父で、蓮如の本願寺8代就任にあたり大きな役割を果たしたことから、本泉寺は蓮如との繋がりが非常に深いといえる。宝徳元年（1449）から3年間、蓮如が北陸巡錫の途上で本泉寺に滞在した際に、背後の山を切り開き、寺の前にあった川の流れを付け替えたと言われている。蓮如は文明年間（1469-1487）に再び本泉寺に滞在し、この時に現在本堂の背後にある九山八海の庭（県指定名勝）を作庭し、本堂前に梅の木を植えたと言われる。この時、本泉寺が無住であったため、蓮如第二子の蓮乗を二世とした。蓮乗は長享元年（1487）までに、本泉寺を浅野川北岸の河北郡若松（現在の金沢市若松町）の地に移転させ、蓮如第七子の蓮悟が三世を継いだ。

加賀一向一揆においては、本泉寺は、松岡寺（能美郡波佐谷）及び光教寺（江沼郡山田）と共に加州三ヶ寺と称し、真宗勢力の中心の一つであった。しかし、享禄4年（1531）7月の享禄の錯乱（大小一揆の戦）において焼き打ちに遭い、廃絶した。

移転後に残された二俣本泉寺は、若松本泉寺の支坊・二俣坊として存続した。のちに瑞泉寺六代証心の子・心祐が入寺して、二俣坊の住持となった。なお、二俣本泉寺にも支坊があったが、その一つであった土山坊は、後に移転して勝興寺（富山県高岡市）となる。天正年間（1573-1591）には、佐々成政の兵乱にあって堂宇が焼失したとされるが、慶長8年（1603）に本泉寺の号を復し、前田家の保護も受けて再興し、現在に至る。

(2) 調査の概要

県指定名勝「二俣本泉寺九山八海の庭」の調査である。

本庭園は、昭和32年の奈良文化財研究所の調査で、等高線や配石の違いなどによって、庫裏の裏の園池（非公開）と本堂裏の園池（公開・県指定名勝）は元は同一の園池で、後世に中央部分が埋め立てられたと推定されている（図の破線参照）。

そこで、埋め立て地推定箇所の中央部分に南北方向の調査区（青色部）を設定し、当初の池の規模や構造、年代等の解明を目的として実施した。

（3）石川県指定名勝「二俣本泉寺九山八海の庭」

指定日：昭和45年11月25日

指定概要

蓮如は、宝徳年間（1449～1452）に二俣本泉寺に初めて訪れ、約20年後の文明3年（1471）に再訪し、その際に本園池を作庭したとされている。本堂等の北背面山麓に池を掘り、阿弥陀如来の浄土世界を象って、池中に六ヶ所の岩島を配し、自ら「九山八海」と名づけたと伝わっており、蓮如意匠の原型をとどめる数少ない庭の一つで、県下最古の中世庭園とされている。

そびえる壁岩を背後に、池泉が掘られ、池中に大きな岩石の配石、年輪を重ねた御手植の檜の巨木、陰陽一対となす御硯石と御背比石、その間にある御腰掛石など、素朴で力強い表現となっている。池泉の西岸の部分の護岸が、池の護岸の手法とあまりにも異なっていることから、池泉は庫裡の北正面にある園池まで広がっていたと考えられる。

（4）調査の成果

池の汀線は検出できなかった。ただし、埋め立てて整地していることは確認できたため、池の規模がさらに南北に広がる可能性が考えられる。

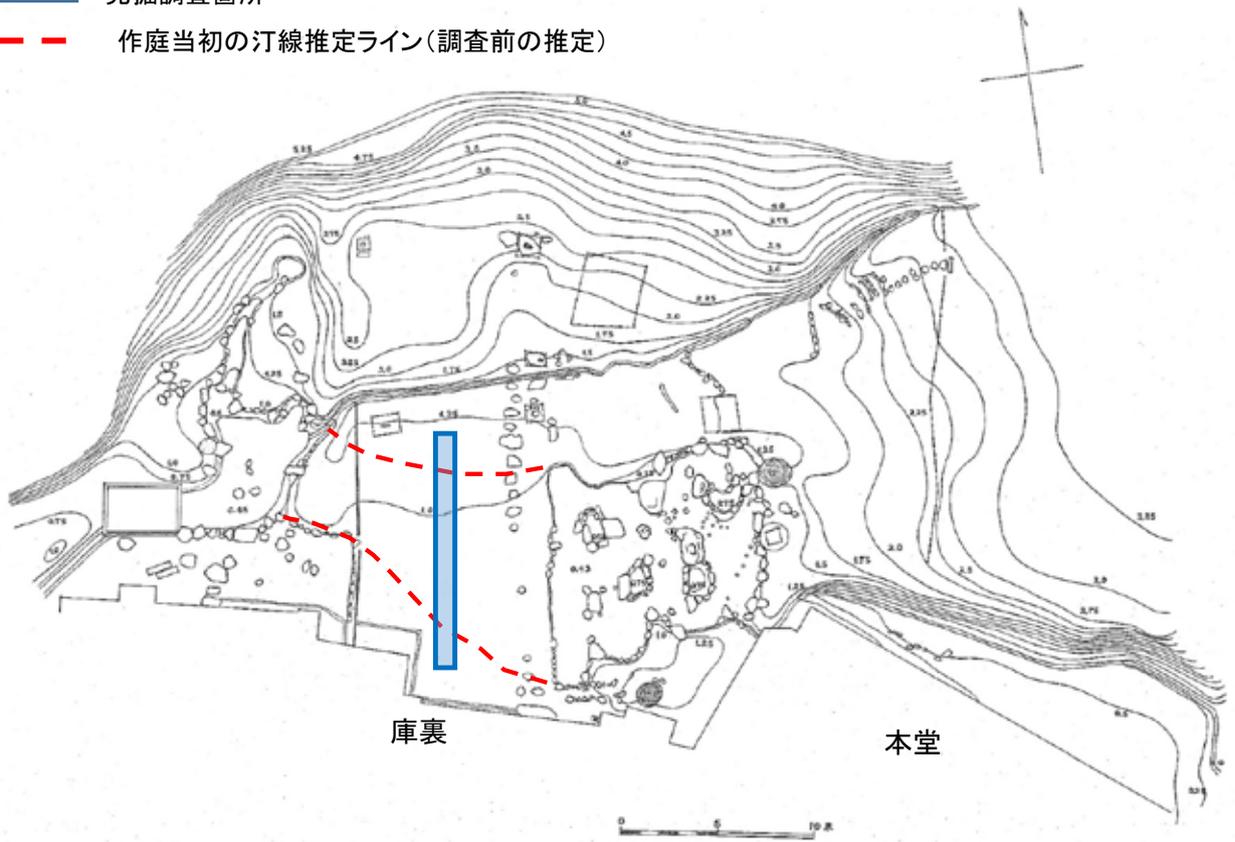
調査区南端で州浜状の遺構を確認した。池の汀である可能性があるが、池底まで延びていないなどの問題点が残る。

中世の遺物はみつからなかったが、調査区内の整地土からは近世期の遺物が出土しており、近世に埋め立てたものと考えられる。なお、寺に残る伝承では、近世に池を埋めてその奥に茶室を作ったというものがある。

その他に、埋められた後に建てられた建物の礎石を検出した。

以上、池の延長については、不明確ながら、さらに大きな園池が存在した可能性が浮かびあがった。追加調査を実施して、蓮如作庭と伝わる園池の実態解明が課題である。

- 発掘調査箇所
- 作庭当初の汀線推定ライン(調査前の推定)



二俣本泉寺遺跡庭園 平面図



調査前 (右端が現在の池)



調査状況 (州浜か)



庭園 (池の奥が調査地)



調査状況 (埋立・整地)

C. 金沢城下町遺跡 (本多氏屋敷跡地区)

(遺跡番号 県：130416 市：304-16)

所在地：金沢市本多町三丁目地内

北緯 36° 33' 34"

東経 136° 39' 39"

調査面積：10m²

種別：城下町

主な時代：江戸

担当：庄田 知充



■ 遺跡の概要

加賀藩では、元禄3年(1690)以後、藩の重役である年寄衆を八つの家柄が代々世襲し、藩の執政を担当した。本多家は八家のなかでも最高の5万石を知行した。当主が居住した上屋敷は、小立野台地の南西辺にあり、上屋敷に隣接する台地下には、当主の別邸といわれる中屋敷、親族及び陪臣の居住地である下屋敷地が広がっていた。

調査地は、上屋敷跡(石川県立美術館付近)から下屋敷跡(市立中村記念美術館付近)にかけての小立野台地の斜面で、「美術の小径」の西側にあたる。この上屋敷跡の裏手西辺、小立野台地崖上端部を縁取って築造されている塀跡および2箇所(門跡)の門跡、門跡から下屋敷跡方向へと下る坂道、および塀跡と坂道に付属する3カ所は、市史跡「本多家上屋敷西面門跡及び塀跡 附道跡」に指定されており、

平成28年度の発掘調査は、美術の小径の北側にある門跡から台地下へと下る道跡の遺構面と道跡に沿う法面に築かれている石垣の構造を確認する目的で10月17日～24日に実施した。調査地は、上屋敷跡(石川県立美術館付近)から下屋敷跡(市立中村記念美術館付近)にかけての小立野台地斜面で、「美術の小径」のすぐ北側にあたる。

門跡から下屋敷へは道跡1・2によって下る。道跡1上部は、幅1.5mの坂道で、道の法面は高さ約3mの石垣1(上段)と、高さ約1.6mの「く」の字に屈曲した石垣2(下段)で構成されている。道跡1下部は、幅約2～4mの緩やかな坂道で、中屋敷北西角へと下る。道跡2は幅約2mの坂道で、道跡1付近から分岐して「裏坂」(現在の美術の小径付近)に合流していたと考えられる。

調査の経緯・手法

本石垣に関してはこれまで、平成21年度に裏込め及び前面部の発掘調査および横断面図作成、平成27年度に石垣1・石垣2前面の三次元レーザー計測、平成28年度に石垣1側面および上面の写真測量を実施してきた。

この調査により、市史跡指定地内の石垣1と石垣2について、石垣の一部が変形により毀損する恐れが高いと判断されたため、解体修理を行うことになった。解体範囲は、石垣1が南東隅角上部2段分、石垣2が屈折部より北東部6段分である。

石垣を解体するにあたっては、①立面写真への番付記入、②石面に対しての粘着テープによる番付、③石面への墨打ち、④解体一段毎における石材上面への墨番付、⑤一段解体毎における遺構面清掃および平面写真測量と写真撮影、⑥横断面図・縦段土層図作成、⑦個々の石材寸法・材質・加工等の観察及び記録と石面の写真撮影を行った。

また、解体した石垣を再構築するにあたっては、オリジナル石材をできるだけ元の位置・形状に

戻すことを基本とし、石垣の勾配については、隣接する変形が少ない石垣面の勾配にあわせた。解体しなかったオリジナルの石垣との境界面には、厚さ約 2mm、幅約 5cm の鉛板に西暦を刻んで設置した。再構築は、①構築予定面の地固めおよび碎石敷きならし、②基準勾配杭と水糸の設定、③石材の組み上げ、④番付を記載した粘着テープの除去の手順で行い、各工程を写真撮影で記録した。

番付の方法は、石垣 1 を A、石垣 2 を B とし、解体工程の段毎に段数に枝番をつけて 1 から番号をふった。たとえば上段石垣の上から 1 段目 1 つめの石材は「A1-1」、2 段目 3 つめは「A2-3」といった具合である。

石垣 1（上段石垣）

道跡 1 上部の山側法面に築かれている石垣で、南東隅角部分の隅石 2 段目の石材が脱落しかかっていたため、脱落石以上の石材について解体修理した。解体した石材は上から 1 段目が 5 個、2 段目が 5 個となった。また、築石部分の石材が 1 箇所脱落していたため、新材で補填した。

石垣 2（下段石垣）

道跡 1 中段の谷側法面に築かれている石垣で中間部分が「へ」の字に折れており、屈折部から北西側の石垣面が逆勾配（前倒れの傾斜）になっていたため、解体修理を実施した。解体した石材は上から 1 段目が 5 個、2 段目が 4 個、3 段目が 10 個、4 段目が 8 個、5 段目が 5 個、6 段目が 5 個、ほかに間詰め石が 13 個となった。

「歴史の小径」整備

本多の森内の金沢市指定史跡「本多家上屋敷西面門跡及び塀跡 附道跡」に残る門跡、塀跡、石垣等の遺構を見学しながら歴史にふれあえる空間を創出するとともに、「美術の小径」や「緑の小径」とともに周辺の歴史文化施設の回遊性を向上させるため、遊歩道「歴史の小径」を整備した。概要は下記の通り。

- ・整備面積 77.3 m²
- ・石階段 長さ 26 m（幅 1.3 m）、擬木階段 延長 29 m（幅 1.5 m）、
- ・門跡復元 美術館側石積み・礎石等
- ・案内板 9 枚



上段石垣裏込めの縦断面写真



石垣1（上段石垣）南東隅部1段目取り外し状況



石垣1（上段石垣）南東隅部3段目取り外し状況

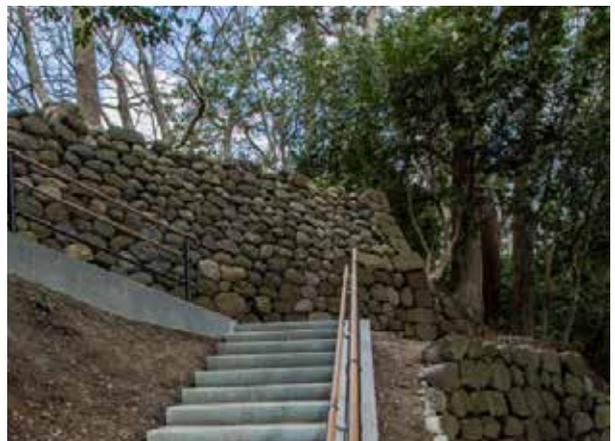


石垣2（下段石垣）石材取り外し前

石垣2（下段石垣）石材取り外し後



「歴史の小径」整備前の上・下段石垣



「歴史の小径」整備状況

2. 埋蔵文化財分布調査事業

(1) 平成 28 年度埋蔵文化財分布調査事業の概要

金沢市では、公共事業に関する土木工事や建設工事等および民間の開発行為や農地転用の際に、金沢市遺跡地図に基づき図面調査及び現地での踏査・試掘調査を実施し、開発事業着手前に埋蔵文化財の有無を確認している。

平成 28 年度は金沢市施工の公共事業 4 件、民間の開発事業・農地転用等 143 件について、埋蔵文化財の有無を調査した。以下はその一覧である。

なお、平成 23 年度より、開発事業に伴う試掘確認調査については国庫及び県費補助事業にて実施しており、平成 28 年度の事業費は 3,898 千円であった。

このほか、周知の埋蔵文化財包蔵地内における工事に伴うもので、文化財保護法第 93 条及び第 94 条に基づく慎重工事及び工事立会での対応となったものは 60 件で、別表のとおりであった。

公共事業に係る埋蔵文化財調査一覧

| ID | 場 所 | 事 業 名 | 担当課 | 回答日 | 面 積 | 調査方法 | 結果 | 対 応 |
|----|------------|------------|---------|-----------|-----------|------|----|--------------------|
| 1 | みどり 1 丁目地内 | 市営住宅建設 | 消防総務課 | 5 月 18 日 | 3,111㎡ | 試掘 | 無 | 支障なし (上安原緑団地遺跡) |
| 2 | 野町 1 丁目地内 | 防火水槽設置 | 歴史都市推進課 | 10 月 14 日 | 18.24㎡ | 試掘 | 無 | 支障なし |
| 3 | 寺町 4 丁目地内 | 防火水槽設置 | 歴史都市推進課 | 10 月 14 日 | 18.24㎡ | 試掘 | 無 | 支障なし |
| 4 | 寺町 5 丁目地内 | 建築文化拠点施設整備 | 企画調整課 | 3 月 13 日 | 2,207.89㎡ | 試掘 | 無 | 支障なし |

民間の開発行為に係る埋蔵文化財調査一覧

| ID | 場 所 | 行為の内容 | 回答日 | 面 積 | 調査方法 | 結果 | 対 応 |
|----|-------------------------|-------------------|----------|-----------|------|----|----------------------|
| 1 | 高島 2 丁目 30 | 住宅建設 | 4 月 5 日 | 364㎡ | 試掘 | 無 | 支障なし (高島遺跡) |
| 2 | 尾張町 1 丁目 211 | 住宅建設 | 4 月 8 日 | 143.75㎡ | 試掘 | 無 | 支障なし (金沢城下町遺跡) |
| 3 | 泉が丘 2 丁目 246-8 | 共同住宅建設 | 4 月 11 日 | 1,727㎡ | 試掘 | 無 | 支障なし |
| 4 | 専光寺町ヨ 52-1 外 5 筆 | 店舗建設 | 4 月 13 日 | 1,798㎡ | 試掘 | 無 | 支障なし |
| 5 | 彦三町 2 丁目 1 2 1 | 住宅建設 | 4 月 22 日 | 70.27㎡ | 試掘 | 無 | 支障なし (金沢城下町遺跡) |
| 6 | 観法寺町い 4 9 | 共同住宅建設 | 4 月 25 日 | 538㎡ | 試掘 | 有 | 要協議 (観法寺遺跡) |
| 7 | 尾張町 1 丁目 320、321、322 | 住宅建設 | 4 月 28 日 | 117.18㎡ | 試掘 | 無 | 支障なし (金沢城下町遺跡) |
| 8 | 大手町 173、174、175 | 店舗建設 | 5 月 2 日 | 1,057.32㎡ | 試掘 | 有 | 要協議 (前田氏(長種系)屋敷跡) |
| 9 | 伏見台 2 丁目 39、42、43、44、45 | 店舗建設 | 5 月 6 日 | 1,395㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (寺地シンドロ遺跡) |
| 10 | 加賀朝日町参字 31 | 農用地造成 (道路整備事業) | 5 月 10 日 | 58,000㎡ | 踏査 | 無 | 支障なし (朝日山城跡) |
| 11 | 袋板屋町ヌ 1 1 外 1 筆 | 土採取場建設 | 5 月 10 日 | 7,207.98㎡ | 踏査 | 無 | 支障無し |

| ID | 場 所 | 行為の内容 | 回答日 | 面 積 | 調査方法 | 結果 | 対 応 |
|----|-------------------|-----------|-------|-------------|------|----|--------------------|
| 12 | 笠舞2丁目252 | 老人ホーム建設 | 5月11日 | 1,108.47㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 13 | 平栗二部1 外12筆 | 土置場建設 | 5月12日 | 21,166㎡ | 踏査 | 無 | 支障無し |
| 14 | 平栗ヲ部1番地1 外123筆 | 廃棄物処分場建設 | 5月12日 | 123,284.19㎡ | 踏査 | 無 | 支障無し |
| 15 | 安江町地内 | 住宅建設・店舗建設 | 5月14日 | 2,250㎡ | 試掘 | 有 | 要協議 (金沢城下町遺跡) |
| 16 | 神田1丁目233 | 宅地分譲 | 5月16日 | 2,093.02㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (寺地シンドロ遺跡) |
| 17 | 高尾台1丁目353 | 住宅建設 | 5月23日 | 約490㎡ | 試掘 | 無 | 支障なし (高尾新町遺跡) |
| 18 | 市瀬町あ44 外1筆 | 農地転用 | 5月23日 | 1,005㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (上安原緑団地遺跡) |
| 19 | 香林坊2丁目288 | 店舗建設 | 5月24日 | 110.09㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (金沢城下町遺跡) |
| 20 | 安江町194番 | 住宅建設 | 5月24日 | 345㎡ | 試掘 | 有 | 要協議 (金沢城下町遺跡) |
| 21 | 尾山町170-1 | ホテル建設 | 5月25日 | 729.91㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (金沢城下町遺跡) |
| 22 | 兼六元町26-1、27-1 | 事務所建設 | 5月26日 | 506.99㎡ | 試掘 | 有 | 要協議 (金沢城下町遺跡) |
| 23 | 車町40 | 住宅建設 | 5月31日 | 240.21㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (車遺跡) |
| 24 | 押野2丁目164-3 | 住宅建設 | 6月1日 | 148.91㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (押野西遺跡) |
| 25 | 押野2丁目198-1 | 住宅建設 | 6月1日 | 126.44㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (押野西遺跡) |
| 26 | 窪4丁目500-1 | 宅地造成 | 6月1日 | 148.22㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (窪遺跡) |
| 27 | 窪4丁目500-2 | 住宅建設 | 6月1日 | 146.99㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (窪遺跡) |
| 28 | 専光寺町カ1、2、3、4 | 工場建設 | 6月2日 | 1,864㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 29 | 安江町181、182、206-2 | 宅地造成 | 6月3日 | 463.72㎡ | 試掘 | 有 | 要協議 (金沢城下町遺跡) |
| 30 | 高島3丁目241、242 | 店舗建設 | 6月6日 | 1,169㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 31 | 南新保町チ33-1 | 携帯電話基地局建設 | 6月8日 | 12㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (南新保C遺跡) |
| 32 | 小立野1丁目32-14 | 住宅建設 | 6月10日 | 181.81㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (旧上野射撃場遺跡) |
| 33 | 伏見台3丁目187、188、189 | 宅地造成 | 6月13日 | 651㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (円光寺向田遺跡) |
| 34 | 増泉3丁目81-3、82 | 住宅建設 | 6月13日 | 1,340.04㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 35 | 横山町690、777-3 | 宅地造成 | 6月15日 | 169.45㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (横山氏屋敷跡) |
| 36 | 西金沢5丁目293-2 | 住宅建設 | 6月16日 | 109.㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (保古町遺跡) |
| 37 | 直江町口39-5 | 共同住宅 | 6月17日 | 466.㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 38 | 窪1丁目254-5 | 携帯電話基地局建設 | 6月20日 | 12㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (高尾城跡) |
| 39 | 梅田町口16-1 | 売買 | 6月20日 | 551㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (梅田B遺跡) |
| 40 | 泉野町5丁目113、114 | 住宅建設 | 6月22日 | 372㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (泉野遺跡) |
| 41 | 神田2丁目164-7 | 住宅建設 | 6月28日 | 109.15㎡ | 試掘 | 有 | 要協議 (神田遺跡) |

| ID | 場 所 | 行為の内容 | 回答日 | 面 積 | 調査方法 | 結果 | 対 応 |
|----|----------------------|----------------|-------|-----------|------|----|----------------------|
| 42 | 涌波町癸3-7 | 住宅建設 | 7月4日 | 262.71㎡ | 試掘 | 有 | 要協議 |
| 43 | 伏見台3丁目140 | 宅地造成 | 7月5日 | 297㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (円光寺向田遺跡) |
| 44 | 山科町午73、74-3 外 | 売買 | 7月11日 | 936.02㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (山科やなした遺跡) |
| 45 | 鳴和町ナ90-1、91、92、93、96 | 売買 | 7月19日 | 1,021㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 46 | 高島2丁目53 | 共同住宅建設 | 7月20日 | 316.48㎡ | 試掘 | 有 | 要協議 (高島遺跡) |
| 47 | 二宮町418 | 住宅建設 | 7月26日 | 209.69㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (二口六丁A遺跡) |
| 48 | 金石本町ハ22-4 | 住宅建設 | 7月26日 | 125.94㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (金石本町遺跡) |
| 49 | 金石西2丁目669、787 外 | 宅地造成 | 7月26日 | 2,178.24㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 50 | 西町四番丁22-6 | 住宅建設 | 7月28日 | 1,034.22㎡ | 試掘 | 有 | 要協議 (金沢城下町遺跡) |
| 51 | 大手町176 | 店舗建設 | 8月2日 | 295.2㎡ | 試掘 | 有 | 要協議 (前田氏(長種系)屋敷跡) |
| 52 | 諸江町上丁632 外5筆 | 共同住宅建設 | 8月3日 | 1,055㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 53 | 小立野1丁目123 | 住宅建設 | 8月4日 | 198.29㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (旧上野射撃場遺跡) |
| 54 | 上安原町485 | 住宅建設 | 8月4日 | 269.98㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (上安原遺跡) |
| 55 | 長町3丁目144-1 | 長土塀青少年交流センター整備 | 8月9日 | 2,000㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 56 | 下堤町7番1-1-2 外 | ホテル建設 | 8月10日 | 400.53㎡ | 試掘 | 有 | 要協議 (金沢城下町遺跡) |
| 57 | 下堤町13-2、14 | ホテル建設 | 8月10日 | 280.89㎡ | 試掘 | 有 | 要協議 (金沢城下町遺跡) |
| 58 | 安江町15-52 | 幼稚園改築 | 8月15日 | 2,000㎡ | 試掘 | 有 | 要協議 (金沢城下町遺跡) |
| 59 | 畝田西3丁目209 | 宅地造成 | 8月17日 | 112㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (畝田遺跡) |
| 60 | 八日市出町957 | 店舗建設 | 8月18日 | 583.41㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (八日市ヤスマル遺跡) |
| 61 | 南町117 | 共同住宅建設 | 8月18日 | 218.21㎡ | 試掘 | 有 | 要協議 (金沢城下町遺跡) |
| 62 | 尾張町1丁目28 | 住宅建設 | 8月19日 | 145.64㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (金沢城下町遺跡) |
| 63 | 彦三町1丁目488 | 住宅建設 | 8月22日 | 88.64㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (金沢城下町遺跡) |
| 64 | 栗崎町1丁目86 | 宅地造成 | 8月23日 | 2,250.25㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 65 | 下新町6-17 | 住宅建設 | 8月24日 | 466.36㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (金沢城下町遺跡) |
| 66 | 三社町202 外 | 住宅建設 | 8月29日 | 250.57㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (元菊町遺跡) |
| 67 | 黒田1丁目175-1、175-2 | 賃貸ポンプ室 | 9月2日 | 390.12㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (黒田町遺跡) |
| 68 | 瓢箪町842、843 | 住宅建設 | 9月5日 | 34.9㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (金沢城下町遺跡) |
| 69 | 古府町南444-2 | 住宅建設 | 9月5日 | 306.14㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (古府遺跡) |
| 70 | 金石本町ハ35-4 | 住宅建設 | 9月5日 | 284.05㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (金石本町遺跡) |
| 71 | 入江2丁目344 | 住宅建設 | 9月8日 | 259.62㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (玉鉾遺跡) |

| ID | 場 所 | 行為の内容 | 回答日 | 面 積 | 調査方法 | 結果 | 対 応 |
|-----|-----------------|----------------|--------|-----------|------|----|---------------------|
| 72 | 尾張町1丁目370、240 外 | 駐車場 | 9月8日 | 3,671.73㎡ | 試掘 | 有 | 要協議 (金沢城下町遺跡) |
| 73 | 二宮町204 | 住宅建設 | 9月9日 | 101.63㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (二口六丁A遺跡) |
| 74 | 長坂2丁目1606-1 | 住宅建設 | 9月12日 | 229.97㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (長坂A遺跡) |
| 75 | 泉野町5丁目152 | 住宅建設 | 9月12日 | 247.72㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (泉野遺跡) |
| 76 | 矢木2丁目182-1 外 | 宅地造成 | 9月13日 | 2,607㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (矢木マツノキダ遺跡) |
| 77 | 畝田西3丁目168-3 | 住宅建設 | 9月20日 | 137㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (畝田遺跡) |
| 78 | 近岡町60-1 | 店舗建設 | 9月20日 | 641㎡ | 試掘 | 有 | 要協議 (大友E遺跡) |
| 79 | 大桑新町子30-1 外4筆 | 福祉施設建設 | 9月21日 | 1,329㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 80 | 矢木2丁目81-1 | 住宅建設 | 9月23日 | 153.5㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (矢木ヒガシウラ遺跡) |
| 81 | 上安原町407-3、407-4 | 住宅建設 | 9月23日 | 271.92㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (上安原カナワリ遺跡) |
| 82 | 桜田町2丁目13 外15筆 | 店舗建設 | 10月4日 | 4,740.68㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 83 | 黒田2丁目415-1 | 住宅建設 | 10月7日 | 198㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (黒田町遺跡) |
| 84 | 桂町イ18-1 | 店舗建設 | 10月11日 | 425.06㎡ | 試掘 | 無 | 支障なし (無量寺B遺跡) |
| 85 | 湊2丁目177-1 | 店舗建設 | 10月12日 | 2,337㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 86 | 押野2丁目164-4 | 住宅建設 | 10月19日 | 155.31㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (押野西遺跡) |
| 87 | 三口新町3丁目614 外 | 店舗建設 | 10月19日 | 2,039㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 88 | 窪1丁目135 | 住宅建設 | 10月20日 | 238.7㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (高尾城跡) |
| 89 | 畝田西4丁目68-1 | 共同住宅建設 | 10月25日 | 531.98㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (畝田遺跡) |
| 90 | 畝田西4丁目68-2 | 住宅建設 | 10月25日 | 143.72㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (畝田遺跡) |
| 91 | 袋町169、170 | 住宅建設・店舗建設 | 10月25日 | 234.78㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (金沢城下町遺跡) |
| 92 | 矢木1丁目8、9 | 共同住宅建設 | 10月27日 | 1,072㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 93 | 平和町2丁目142-8 | 宅地造成 | 11月1日 | 4,332.86㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 94 | 古府町南629-1 | 宅地造成 | 11月15日 | 273.99㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (古府遺跡) |
| 95 | 有松2丁目640 | 住宅建設 | 11月15日 | 182.1㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (有松D遺跡) |
| 96 | 四十万町北ヲ21-1 外 | 有料老人センター 建設 | 11月16日 | 1,914㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 97 | 薬師堂町口15-1 | 倉庫建設 | 11月17日 | 295.92㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (薬師堂遺跡) |
| 98 | 高島2丁目181 外2筆 | 店舗建設 | 11月29日 | 1,339㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (高島遺跡) |
| 99 | 武蔵町125、127 | 駐車場建設 | 11月29日 | 119.66㎡ | 試掘 | 有 | 要協議 (金沢城下町遺跡) |
| 100 | 西金沢5丁目279 | 未定 | 12月8日 | 222㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (保古町遺跡) |
| 101 | 笠舞1丁目289 外7筆 | 未定 | 12月8日 | 1,445㎡ | 試掘 | 有 | 要協議 (笠舞A遺跡) |

| ID | 場 所 | 行為の内容 | 回答日 | 面 積 | 調査方法 | 結果 | 対 応 |
|-----|-----------------------------|-------------------|--------|-----------|------|----|----------------------|
| 102 | 大手町 3-16 | マンション建設 | 12月12日 | 363㎡ | 試掘 | 有 | 要協議 (金沢城下町遺跡) |
| 103 | 駅西本町2丁目602 | 住宅建設 | 12月13日 | 279.45㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (二口町遺跡) |
| 104 | 田中町は 54-1 | 広告板設置 | 12月14日 | 300㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (田中A遺跡) |
| 105 | 馬替1丁目2-2 | 住宅建設 | 12月20日 | 113㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (扇ヶ丘ハワイゴク遺跡) |
| 106 | 上安原町 901-2 | 住宅建設 | 12月20日 | 360.17㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (上安原遺跡) |
| 107 | 矢木2丁目196 | 住宅建設 | 12月20日 | 117.82㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (矢木マツノキダ遺跡) |
| 108 | 無量寺町ナ 72-1、79-2、80 | 資材置場 | 12月26日 | 2,861㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 109 | 四十万3丁目8、9、10 | 共同住宅 | 12月26日 | 697.02㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (四十万B遺跡) |
| 110 | 兼六元町 375-1 | アパート建設 | 1月11日 | 459.75㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (金沢城下町遺跡) |
| 111 | 矢木2丁目65-4 | 住宅建設 | 1月23日 | 83.43㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (矢木ヒガシウラ遺跡) |
| 112 | 米泉町6丁目31 | 住宅建設 | 1月26日 | 576㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (米泉6丁目遺跡に隣接) |
| 113 | 四十万3丁目384、402 | 宅地造成 | 1月26日 | 555㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (三十刈遺跡) |
| 114 | 新保本3丁目152-1、2、3 | 事務所建設 | 1月27日 | 1,428.48㎡ | 試掘 | 有 | 要協議 (新保本町西遺跡) |
| 115 | 鞆筒町二 5-1、5-5 小池町老字 6、7、8 | 太陽光発電設備設置 | 1月31日 | 6,290.35㎡ | 踏査 | 無 | 支障無し |
| 116 | 平和町1丁目地内 | 敷地売却にかかる 埋設物調査 | 2月2日 | 2,958.73㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 117 | 兼六元町 130、131 | 住宅建設 | 2月6日 | 216.22㎡ | 試掘 | 有 | 要協議 (金沢城下町遺跡) |
| 118 | 松村6丁目193 | 売買 | 2月9日 | 553.13㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (松村西の城遺跡) |
| 119 | 西泉3丁目51-1、52-1 | 借家(専用住宅)建設 | 2月9日 | 1,158㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 120 | 押野3丁目519-2 | 住宅建設 | 2月9日 | 107.76㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (押野西遺跡) |
| 121 | 兼六元町 384、383 | 住宅建設 | 2月10日 | 332.85㎡ | 試掘 | 有 | 要協議 (金沢城下町遺跡) |
| 122 | 高島2丁目74-1、74-2 | 住宅建設 | 2月15日 | 285.6㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (高島遺跡) |
| 123 | 尾張町2丁目451-2 | 住宅建設 | 2月15日 | 143.29㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (金沢城下町遺跡) |
| 124 | 南森本町ル 136 外 | 住宅建設(分譲) | 2月16日 | 2,690.53㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 125 | 高島2丁目149-1、150-1 | 住宅建設 | 2月20日 | 308.68㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (高島遺跡) |
| 126 | 小立野1丁目36-20 | 住宅建設 | 2月21日 | 332.36㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (旧上野射撃場遺跡) |
| 127 | 尾張町2丁目351 外 | 保育所建設 | 2月22日 | 875.21㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (金沢城下町遺跡) |
| 128 | 八日市4丁目387他5筆 | 土地売買 | 2月23日 | 1,157㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (八日市ヤスマル遺跡) |
| 129 | 西念2丁目604、605 | 事務所建設 | 2月24日 | 1,010㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 130 | 矢木2丁目81-1 | 住宅建設 | 2月28日 | 457.77㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (矢木ヒガシウラ遺跡) |
| 131 | 駅西本町1丁目118-1、118-2 | 社屋建設 | 2月28日 | 1,030.85㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |

| ID | 場 所 | 行為の内容 | 回答日 | 面 積 | 調査方法 | 結果 | 対 応 |
|-----|----------------------------|----------|-------|-----------|------|----|-------------------|
| 132 | 百坂町二 13-1、23-1、24-1 | 店舗建設 | 3月1日 | 1,523.96㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 133 | 寺地 1丁目 393-4、394-4 | 住宅建設 | 3月2日 | 313.15㎡ | 試掘 | 有 | 要協議 (寺地B遺跡) |
| 134 | 長坂 2丁目 1101 | 建物種類未定 | 3月2日 | 308㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (長坂古墳群) |
| 135 | 四十万町北カ 88～92 外 | 住宅建設(分譲) | 3月7日 | 2,052.22㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 136 | 四十万町北カ 102-1～105-1 外 | 住宅建設(分譲) | 3月7日 | 1,550.18㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 137 | 松村 7丁目 83-6 | 住宅建設 | 3月8日 | 121.5㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (松村A遺跡) |
| 138 | 笠舞 1丁目 247(14-27) | 住宅建設 | 3月10日 | 148.76㎡ | 試掘 | 有 | 要協議 (笠舞A遺跡) |
| 139 | 武蔵町 528-1、528-4 | 共同住宅建設 | 3月14日 | 409.6㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (金沢城下町遺跡) |
| 140 | 入江 2丁目 180、181、196～ 198 | 社屋建設 | 3月16日 | 1,273.45㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 141 | 長坂 2丁目 1104 | 住宅建設 | 3月21日 | 288.07㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し (長坂古墳群) |
| 142 | 間明町ホ 60-1 | 宅地分譲 | 3月21日 | 1,809.89㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |
| 143 | 弥勒町カ 50 外 12筆 | 宅地分譲 | 3月22日 | 2,886.92㎡ | 試掘 | 無 | 支障無し |

(別表) 土木工事のための発掘届・発掘通知一覧

| ID | 届・通知 の別 | 場 所 | 行為の内容 | 届出日 | 取扱 通知日 | 面積 | 遺跡名 | 対応 |
|----|------------|----------------------|-------|-------|-----------|---------|-----------|------|
| 1 | 93条 (届) | 南森本町ル 159-10 | 住宅建設 | 4月4日 | 4月4日 | 149.8㎡ | 南森本ホリハタ遺跡 | 工事立会 |
| 2 | 93条 (届) | 南森本町ル 159-3 | 住宅建設 | 4月12日 | 4月12日 | 150.01㎡ | 南森本ホリハタ遺跡 | 工事立会 |
| 3 | 93条 (届) | 南森本町ル 159-6 | 住宅建設 | 4月13日 | 4月13日 | 149.87㎡ | 南森本ホリハタ遺跡 | 工事立会 |
| 4 | 93条 (届) | 高島 2-71、72 | 住宅建設 | 4月13日 | 4月13日 | 125.57㎡ | 高島遺跡 | 工事立会 |
| 5 | 93条 (届) | 高島 2-71、72 (71-1 予定) | 住宅建設 | 4月13日 | 4月13日 | 118.92㎡ | 高島遺跡 | 工事立会 |
| 6 | 93条 (届) | 高島 2-71-72 (72-2 予定) | 住宅建設 | 4月13日 | 4月13日 | 118.14㎡ | 高島遺跡 | 工事立会 |
| 7 | 93条 (届) | 高島 2-71-72 (72-5 予定) | 住宅建設 | 4月13日 | 4月13日 | 129.70㎡ | 高島遺跡 | 工事立会 |
| 8 | 93条 (届) | 南森本町ル 159-5 | 住宅建設 | 4月18日 | 4月18日 | 150.00㎡ | 南森本ホリハタ遺跡 | 工事立会 |
| 9 | 93条 (届) | 南森本町ル 178-5 | 住宅建設 | 4月18日 | 4月18日 | 135.00㎡ | 南森本遺跡 | 工事立会 |
| 10 | 93条 (届) | 武蔵町 599、601 | 住宅建設 | 4月15日 | 4月15日 | 42.60㎡ | 金沢城下町遺跡 | 慎重工事 |
| 11 | 93条 (届) | 尾張町 2-328 | 住宅建設 | 4月18日 | 4月18日 | 67.92㎡ | 金沢城下町遺跡 | 工事立会 |
| 12 | 93条 (届) | 神野 2-20-5 | 住宅建設 | 4月15日 | 4月15日 | 179.74㎡ | 神野遺跡 | 工事立会 |
| 13 | 93条 (届) | 森本ル 159-1 | 宅地造成 | 4月21日 | 4月21日 | 150.02㎡ | 南森本ホリハタ遺跡 | 工事立会 |
| 14 | 93条 (届) | みどり 1丁目 132-1 | 住宅建設 | 4月25日 | 4月25日 | 131.96㎡ | 上安原緑団地遺跡 | 慎重工事 |
| 15 | 93条 (届) | みどり 1丁目 132-2 | 住宅建設 | 4月25日 | 4月25日 | 131.92㎡ | 上安原緑団地遺跡 | 慎重工事 |

| ID | 届・通知の別 | 場 所 | 行為の内容 | 届出日 | 取扱通知日 | 面積 | 遺跡名 | 対応 |
|----|---------|-----------------------------------|----------------|-------|-------|------------|-------------|------|
| 16 | 93条(届) | 観法寺町い49 | 住宅建設 | 5月6日 | 5月6日 | 538㎡ | 観法寺遺跡 | 慎重工事 |
| 17 | 93条(届) | 南森本町ル 159-13 | 住宅建設 | 5月9日 | 5月9日 | 150.04㎡ | 南森本ホリハタ遺跡 | 工事立会 |
| 18 | 93条(届) | 南森本町ル 159-2 | 住宅建設 | 5月10日 | 5月10日 | 138.33㎡ | 南森本ホリハタ遺跡 | 工事立会 |
| 19 | 93条(届) | 下松村町38番4、38番5 | 住宅建設 | 5月11日 | 5月11日 | 65.98 ㎡ | 金沢城下町遺跡 | 工事立会 |
| 20 | 93条(届) | 木曳野2丁目52番 | 住宅建設 | 5月12日 | 5月12日 | 174. ㎡ | 畝田・寺中遺跡 | 慎重工事 |
| 21 | 93条(届) | 桜田町1丁目221番、222番 | 住宅建設 | 5月13日 | 5月12日 | 791.93 ㎡ | 桜田・示野中遺跡 | 慎重工事 |
| 22 | 93条(届) | 田上の里2丁目170番 | 住宅建設 | 5月17日 | 5月17日 | 367.78 ㎡ | 田上北遺跡 | 慎重工事 |
| 23 | 93条(届) | 大友1丁目371番 | 住宅建設 | 5月17日 | 5月17日 | 235.99 ㎡ | 大友G遺跡 | 工事立会 |
| 24 | 93条(届) | 大手町173、174、175 | 店舗建設 | 5月19日 | 5月19日 | 1,059.16 ㎡ | 前田氏(長種系)屋敷跡 | 工事立会 |
| 25 | 93条(届) | 木曳野2丁目51 | 住宅建設 | 5月24日 | 5月24日 | 174㎡ | 畝田・寺中遺跡 | 慎重工事 |
| 26 | 93条(届) | 南森本町ル 159-7 | 住宅建設 | 5月26日 | 5月26日 | 150.01㎡ | 南森本ホリハタ遺跡 | 工事立会 |
| 27 | 93条(届) | 寺中町へ26 | 共同住宅建設 | 5月31日 | 5月31日 | 670.21㎡ | 寺中B遺跡・寺中遺跡 | 工事立会 |
| 28 | 93条(届) | 戸板西1丁目55 | 携帯電話基地局建設 | 6月2日 | 6月2日 | 1㎡ | 桜田・示野中遺跡 | 工事立会 |
| 29 | 93条(届) | 木曳野3丁目216 | 住宅建設 | 6月2日 | 6月2日 | 170.67㎡ | 桂町南遺跡 | 工事立会 |
| 30 | 93条(届) | 戸板5丁目141 | 住宅建設 | 6月8日 | 6月8日 | 278.79㎡ | 出雲じいさまだ遺跡 | 工事立会 |
| 31 | 93条(届) | 安江町194 | 住宅建設 | 6月20日 | 6月20日 | 345.38㎡ | 金沢城下町遺跡 | 工事立会 |
| 32 | 94条(通知) | 本多町3丁目95-1・3 外 | 旧本多家住宅長屋門の移転工事 | 6月29日 | 6月29日 | 7,015.38㎡ | 金沢城下町遺跡 | 工事立会 |
| 33 | 93条(届) | 大友1丁目372 | 住宅建設 | 6月29日 | 6月29日 | 80.56㎡ | 大友G遺跡 | 工事立会 |
| 34 | 93条(届) | 木曳野2丁目51 | 住宅建設 | 7月13日 | 7月13日 | 174㎡ | 畝田・寺中遺跡 | 工事立会 |
| 35 | 93条(届) | 木曳野2丁目52 | 住宅建設 | 7月13日 | 7月13日 | 174㎡ | 畝田・寺中遺跡 | 工事立会 |
| 36 | 93条(届) | 神田2丁目164-7 | 店舗併用住宅建設 | 7月15日 | 7月15日 | 109.15㎡ | 神田遺跡 | 工事立会 |
| 37 | 93条(届) | 高島2丁目53 | 長屋住宅建設 | 8月19日 | 8月19日 | 317.9㎡ | 高島遺跡 | 工事立会 |
| 38 | 93条(届) | 西町四番丁22-6 | 共同住宅建設 | 8月19日 | 8月19日 | 1,034.22㎡ | 金沢城下町遺跡 | 慎重工事 |
| 39 | 93条(届) | 南森本町ル 159-12 | 住宅建設 | 8月22日 | 8月22日 | 150㎡ | 南森本ホリハタ遺跡 | 工事立会 |
| 40 | 93条(届) | 田上の里2丁目205 | 長屋住宅建設 | 8月4日 | 8月4日 | 287.69㎡ | 田上北遺跡 | 工事立会 |
| 41 | 93条(届) | 南森本町ル 178-8 | 住宅建設 | 8月31日 | 8月31日 | 135.06㎡ | 南森本遺跡 | 工事立会 |
| 42 | 93条(届) | 南森本町ル 178-7 | 住宅建設 | 9月20日 | 9月20日 | 134.99㎡ | 南森本遺跡 | 工事立会 |
| 43 | 93条(届) | 尾張町1丁目370、240、241、242、243、244、245 | 駐車場設置 | 9月23日 | 9月23日 | 3,671.73㎡ | 金沢城下町遺跡 | 慎重工事 |
| 44 | 93条(届) | 南森本町ル 159-8 | 住宅建設 | 10月6日 | 10月6日 | 150.02㎡ | 南森本ホリハタ遺跡 | 慎重工事 |
| 45 | 93条(届) | 南森本町ル 159-9 | 住宅建設 | 10月6日 | 10月6日 | 150.01㎡ | 南森本ホリハタ遺跡 | 慎重工事 |

| ID | 届・通知の別 | 場 所 | 行為の内容 | 届出日 | 取扱通知日 | 面積 | 遺跡名 | 対応 |
|----|--------|-----------------------------------|----------------|--------|--------|-----------|----------|------|
| 46 | 93条(届) | 尾山町 11-1 | 拝殿南側階段修復 | 10月11日 | 10月11日 | 16㎡ | 金沢城跡 | 慎重工事 |
| 47 | 93条(届) | 近岡町 316、副都心北部直江土地区画整理 64 街区 1-1 外 | 事務所建設 | 10月27日 | 10月27日 | 1,872.93㎡ | 直江中遺跡 | 慎重工事 |
| 48 | 93条(届) | 副都心北部直江土地区画整理 41 街区 3、4-1・2、5-1 外 | 事務所建設 | 11月15日 | 11月15日 | 1,206㎡ | 直江北遺跡 | 慎重工事 |
| 49 | 93条(届) | 金沢市金石東一丁目 173-1 | 看板築造 | 11月25日 | 11月25日 | 200㎡ | 金石本町遺跡 | 工事立会 |
| 50 | 93条(届) | 近岡町 60-1、1160 | スポーツクラブ建築 | 11月21日 | 11月21日 | 379.55㎡ | 大友E遺跡 | 工事立会 |
| 51 | 93条(届) | 中屋南 68 | 住宅建設 | 1月23日 | 1月23日 | 265.73㎡ | 中屋東遺跡 | 慎重工事 |
| 52 | 93条(届) | 無量寺町ソ 50 | 長屋建設 | 1月23日 | 1月23日 | 346.28㎡ | 畝田・寺中遺跡 | 工事立会 |
| 53 | 93条(届) | 田上の里二丁目 198 | 住宅建設 | 2月13日 | 2月13日 | 272.29㎡ | 田上北遺跡 | 慎重工事 |
| 54 | 93条(届) | 近岡町 63-1 | 事務所・車庫建設 | 3月3日 | 3月3日 | 508.83㎡ | 大友E遺跡 | 慎重工事 |
| 55 | 93条(届) | 兼六元町 3-3 | 住宅建設 | 3月7日 | 3月7日 | 215.2㎡ | 金沢城下町遺跡 | 工事立会 |
| 56 | 93条(届) | 近岡町 63-1、64-1、65-1 | 洗車場設置 | 3月13日 | 3月13日 | 1,048.53㎡ | 大友E遺跡 | 慎重工事 |
| 57 | 93条(届) | 寺地 1 丁目 393-1・394-1 | ブロック工事 | 3月17日 | 3月17日 | 313.16㎡ | 寺地B遺跡 | 慎重工事 |
| 58 | 93条(届) | 松村 3 丁目 419、447 | 駐車場造成 | 3月17日 | 3月17日 | 507㎡ | 松村高見遺跡 | 慎重工事 |
| 59 | 93条(届) | 畝田東 4 丁目 1101 | 店舗建設 | 3月22日 | 3月22日 | 237.06㎡ | 畝田・無量寺遺跡 | 慎重工事 |
| 60 | 93条(届) | 神野 3 丁目 9-2 | 木造 2 階建て専用住宅建設 | 3月27日 | 3月27日 | 140.82㎡ | 神野遺跡 | 慎重工事 |

3. 教育・普及・啓発活動事業

(1) 金沢縄文ワールド

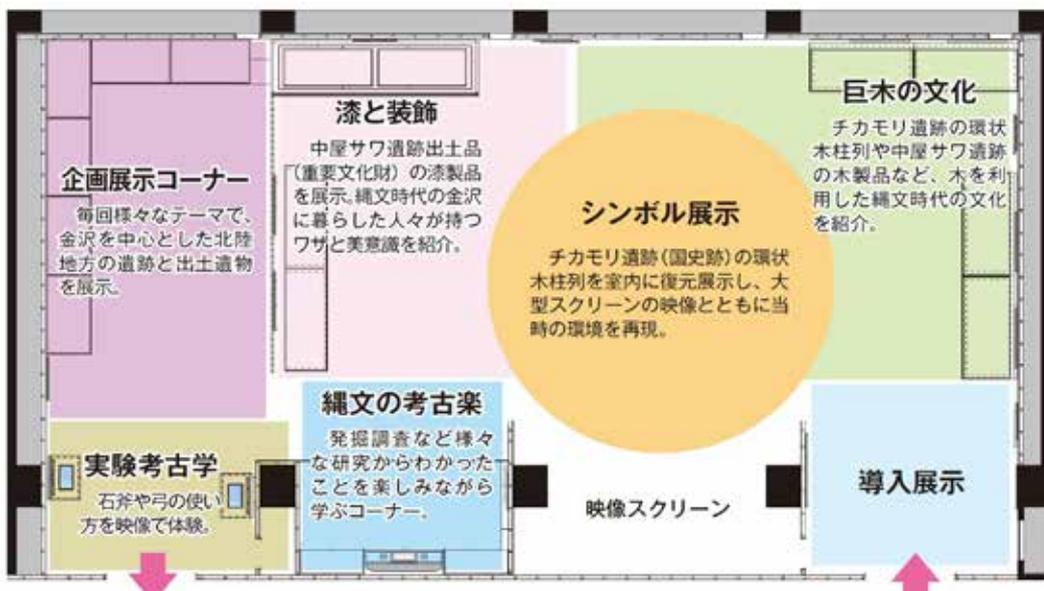
概 要

金沢市いなほ1丁目に所在する中屋サワ遺跡は、縄文時代晩期を主体とした多量かつ多様な土器や漆塗製品を含む木製品、石製品などが出土した遺跡である。特に漆塗製品は遺存状態が良好なものが多く、編みカゴを漆で塗り固めた籃胎漆器、漆塗りの装飾弓、腕輪、豎櫛など、多彩な遺物が出土しており、当時の漆工技術の実態がよく示されている。縄文土器には北陸地方の縄文時代晩期の形式をよく示すだけでなく他地域の影響が見られるものも含まれている。これらは北陸地方における縄文時代晩期の文化と生活様式を良く示しているとして、平成26年8月21日に重要文化財に指定された。

チカモリ遺跡は金沢市新保本5丁目に所在し、昭和50年代の発掘調査で環状木柱列と呼ばれる半裁したクリ材を円形に立て並べた建造物が確認されたほか、計349点にも及ぶ木柱根が出土している。遺跡は中心部がチカモリ遺跡公園として整備され、昭和62年2月23日に国史跡に指定されたほか、出土した木柱根のうち57点が石川県指定文化財に指定されている。

金沢市では、これら縄文時代晩期の貴重な資料を適切に保管するとともに広く一般に展示・公開する施設として、金沢市埋蔵文化財センター内に「金沢縄文ワールド」を設置した。館内には常設展示コーナーと企画展示コーナーを設け、重要文化財「中屋サワ遺跡出土品」を主体に様々な視点から金沢市内の縄文時代を紹介する展示を行っているほか、2階には勾玉作りや縄文かご作りなどの各種古代体験に挑戦できる縄文体験コーナーを併設している。また、重要文化財指定物件を保管する特別収蔵庫を併設し、貴重な考古資料の保存継承を図っている。

| | | |
|------|---|-------------------------------|
| 所在地 | 石川県金沢市上安原南60番地 | 金沢市埋蔵文化財センター内 |
| 開館時間 | 9時30分から17時00分まで（入館は16時30分まで） | |
| 休館日 | 月曜日、年末年始（12/29～1/3） ※月曜日が祝日の場合は開館し、その次の平日に休館 | |
| 入館料 | 無料 | |
| 入館者数 | 平成27年度 | 1,111人（平成27年11月8日～平成28年3月31日） |
| | 平成28年度 | 3,102人（平成28年4月1日～平成29年3月31日） |



常設展示

金沢縄文ワールドにおいて重要文化財「中屋サワ遺跡出土品」及び国史跡「チカモリ遺跡」出土品を常設展示するにあたり、貴重な考古資料を適切に保存管理しつつ、その魅力を広く公開するという基本理念のもと、以下のコンセプトによる展示を行っている。

1. 中屋サワ遺跡やチカモリ遺跡の出土品の特色及び独自性を演出する展示
2. 若年層から高齢者まで、幅広いニーズに対応できる演出
3. 「触れて、楽しみ、学ぶ」ことができる体験型展示手法の採用
4. 各種分析や実験考古学など最新の研究成果を反映した展示

これにメンテナンス性や環境への配慮を加えた結果、常設展示では「巨木の文化」「漆と装飾」の2大テーマに基づいた展示・解説を企画したほか、タッチパネルを操作して金沢市内の縄文遺跡や発掘調査の流れなどが検索できる「縄文の考古楽」コーナー、ゲームを通して縄文時代の石斧や弓の使い方を体験できる「実験考古学」コーナーを併設した。

■巨木の文化

展示室中央にシンボル展示としてチカモリ遺跡の環状木柱列を室内復元し、大型スクリーンの映像とともに往時の環境を再現している。また、中屋サワ遺跡から出土した豊富な木製品を展示し、縄文時代晩期の優れた木工技術を紹介している。



シンボル展示



常設展示「巨木の文化」

■漆と装飾

中屋サワ遺跡から出土した漆塗木製品や縄文土器を展示し、その高い技術と独自のデザイン性を通して、縄文時代晩期の金沢に住んだ人々が持っていたワザと美意識を紹介している。特に漆塗木製品は籃胎漆器や木胎漆器、弓、櫛、腕輪など多岐に渡る第一級の資料を展示しており、当該時期の金沢における優れた漆芸文化の一端を垣間見ることができる。



常設展示「漆と装飾」



「縄文の考古楽」コーナー



土器パズル

企画展示

企画展示コーナーでは、常設展示とは別に、毎回異なるテーマに基づいた展示を行い、金沢を中心とした北陸地方の遺跡と出土遺物を紹介している。平成28年度は計3回の企画展を開催した。

企画展「縄文土器のカタチ。」

会 期 平成28年8月2日～平成28年12月4日

概 要 縄文土器には、深鉢や浅鉢、注口土器など、さまざまなカタチがある。これらは煮炊きや貯蔵、食べ物の盛り付けなど、用途によって使い分けられていた。縄文土器は、表面に施された美しく精緻な文様に目を奪われがちだが、その根底には道具としての用途がある。つまり、縄文土器のカタチをよく見ることで、それらがどのように使われていたのかがわかる。本企画展は、縄文土器の「カタチ」に着目し、それらの使い方を紹介することで、縄文時代に生きた人々のくらしを再現することを目的とする。

展示資料 煮炊きする器 : 深鉢
 モノを入れる器 : 鉢
 盛り付ける器 : 浅鉢
 貯蔵する器 : 壺形土器
 特殊な器 : 注口土器、小型土器、有孔罎付土器

企画展「文様の技術－土器に現れた人々の想い－」

会 期 平成28年12月6日～平成29年3月20日

概 要 縄文時代に生きる人々は、さまざまな道具を使い、技術を駆使して、彼らの生活を豊かにしていた。縄文土器においても、時代の名称にも使われている縄目文様だけではなく、条痕文、隆起線文、刺突文などの文様を見ることができる。彼らは、多種多様な道具と技術によって、その精神世界を土器の表面に表現していた。そこには各地の風土によってはぐくまれた豊かな感性と、それを表現する確かな技術を見ることができる。本企画展では、金沢市内から出土したさまざまな文様を持つ縄文土器を展示し、その技術によって表現された縄文時代の人々の精神世界を紹介する。

展示資料 転がす : 縄文、撚糸文
 貼り付ける : 隆起線文
 押し引く : 条痕文、半隆起線文、沈線文
 突き刺す : 刺突文
 磨り消す : 磨消縄文

企画展「縄文から弥生へ」

会 期 平成 29 年 3 月 22 日～平成 29 年 7 月 17 日
 概 要 縄文時代は今から約 12,000 年前に始まり、約 2,700 年前に終焉を迎え、弥生時代へと続く。土器も同様に縄文土器から弥生土器へと変化するが、その理由には社会生活の変化が大きく関与している。縄文土器は、いわゆる「縄文」を持つものを筆頭に、時期によって様々な文様や器形のものを作られ用いられていた。弥生時代にも、それぞれの時期や地方に特徴的な文様や器種構成を見ることができ、縄文時代のそれとは大きく異なる点が多く見られる。今回の企画展では、県内遺跡から出土した縄文土器と弥生土器の代表例を展示し、その差違を視覚的に比較しながら、両時代に用いられた土器の特徴を紹介するとともに、両者の違いの理由を解説する。

展示資料 縄文時代：乾遺跡、中屋遺跡、御経塚遺跡
 弥生時代：矢木ジワリ遺跡、中屋ヘシタ遺跡、八日市地方遺跡
 寺中遺跡、西念・南新保遺跡、松寺遺跡



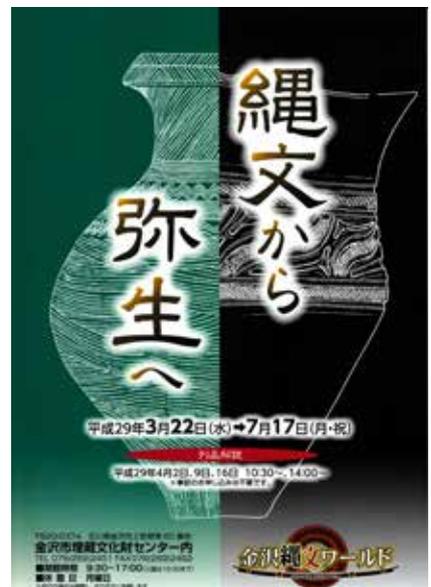
「縄文土器のカタチ。」



「文様の技術」



「縄文から弥生へ」



縄文文化体験コーナー

金沢縄文ワールドの開設に併せ、金沢市埋蔵文化財センターの2階に縄文文化体験コーナーを併設し、様々な縄文体験を無料で実施している。同コーナーの体験メニューはいつでも体験できる通年メニューと、毎月内容が変わる期間限定メニューの2種類がある。いずれも縄文時代の文化や生業を追体験できる内容となっており、当館の体験型展示コンセプトの一翼を担っている。

通年メニュー 土器パズル 勾玉作り 古代衣装試着 拓本作り
ペーパークラフト ぬりえ

期間限定メニュー 縄文かご・コースター作り 土偶作り 土笛作り くみひも作り
うでわ作り はたおり

※期間限定メニューの開催時期はホームページ等に掲載。

※ペーパークラフトは金沢縄文ワールドのホームページでダウンロードできる。

<http://www4.city.kanazawa.lg.jp/11104/bunkazaimain/maizou/15.html>

利用実績 平成27年度 449人（平成27年11月8日～平成28年3月31日）
 平成28年度 1,919人（平成28年4月1日～平成29年3月31日）



縄文文化体験コーナー（縄文かご作り）



勾玉作り



くみひも作り



はたおり

金沢縄文ワールド見学バス助成制度

金沢縄文ワールドでは、重要文化財「中屋サワ遺跡出土品」等の展示を通して本市の縄文遺跡の魅力を紹介している。また、併設する縄文体験コーナーでは、勾玉作りなど様々な縄文文化を無料で体験することができる。当館では、金沢縄文ワールドを初めとした本市及び近郊の縄文遺跡の見学・体験を希望する小学校や関連団体に対し、往復のバス使用料を助成する制度を実施しており、歴史学習や校外活動に活用されている。見学コースは下記の4コースを設定しており、申込団体が希望するコースを選択できる。このほか、助成に依らない団体見学の受け入れも実施している。

① 展示見学コース —金沢縄文ワールドの展示と館内の見学—

行 程 金沢縄文ワールド（展示見学、館内設備見学）

所要時間 約 40 分

② 縄文文化体験コース —金沢縄文ワールド展示見学と縄文体験—

行 程 金沢縄文ワールド（展示見学、縄文体験（勾玉作り等））

所要時間 約 90 分

③ 縄文文化探訪コース —金沢縄文ワールド展示見学と近郊の縄文遺跡めぐり—

行 程 金沢縄文ワールド、御経塚遺跡公園、チカモリ遺跡公園

所要時間 約 120 分

④ 古代の里探訪コース —金沢縄文ワールド展示見学とふるさとの国史跡めぐり—

行 程 金沢縄文ワールド、上荒屋史跡公園、東大寺領横江荘遺跡荘家跡、
御経塚遺跡公園、チカモリ遺跡公園

所要時間 約 120 分

利用実績 平成 27 年度 5 団体 168 人

平成 28 年度 7 団体 288 人



縄文文化体験コース
縄文体験（縄文コースター作り）



縄文文化探訪コース
縄文遺跡めぐり（御経塚遺跡公園見学）

(2) 歴史ふれあい講座

当センターでは平成 12 年度より、職員が市内の小学校へ出向き、郷土の歴史と埋蔵文化財について小学校 6 年生に講義を行う「歴史ふれあい講座」を行っている。

講座では、貫頭衣の試着、石を使ってのくるみ割り、縄文から古墳時代の遺物見学、最後に火起こしまたは勾玉作りを体験する。また、現在の生活と文化財との接点を意識してもらえるよう、各小学校の校区内に所在する文化財や埋蔵文化財包蔵地を記した「文化財マップ」を配布し、校区内の遺跡から発掘された出土品を展示している。この内容で、1 講座 100 分を所要する。

平成 22 年度からは、金沢市文化財ボランティア「うめばちの会」の協力のもと、公私協働で事業を行っている。今年度は 4 月 14 日の十一屋小学校から始まり、5 月 31 日の東浅川小学校に終わる 29 校で開催した。うち 21 校が火起こしを、8 校が勾玉作りを、2 校は勾玉作りも火起こしも行わない短時間の土器実見コースを行った。参加児童数は 2,144 名で、平成 12 年度からの累計は 29,599 名となった。

《過去 5 年間の事業実績》

| 実施年度 | 学校数 | 講座数 | 児童数 |
|-----------------|-----------|-----------|--------------|
| 平成 24 年度 | 33 | 66 | 2,214 |
| 平成 25 年度 | 32 | 65 | 2,229 |
| 平成 26 年度 | 31 | 67 | 2,167 |
| 平成 27 年度 | 31 | 63 | 2,122 |
| 平成 28 年度 | 29 | 60 | 2,144 |



くるみ割り体験の様子



火起こし体験の実演解説



火起こし体験の様子



火起こし体験の様子

(3) 金沢こども歴史探検隊

当センターでは平成15年度より、将来を担う子どもたちを対象に、市内の史跡・建造物など、実物の歴史遺産をフィールドとした歴史体感活動「金沢こども歴史探検隊」を実施している。この活動の目的は、ふるさとの歴史をより理解し、地域と協働して貴重な歴史文化遺産を護る「金沢型の文化財保存活動」を実現する環境の形成を図ることである。

平成28年度は、縄文ワールド開設1周年記念にあわせた縄文土器写生大会と千田北遺跡における親子体験発掘を実施した。

《過去5回の事業実績》

| 実施年度 | 回数 | タイトル |
|--------|----|------------------------------|
| 平成24年度 | 11 | 「めざせ金沢城博士!!」Vol.3 |
| 平成25年度 | 12 | 「金沢湯涌江戸村探検隊!」 |
| 平成26年度 | 13 | 「加賀藩主前田家墓所探検」Vol.2 |
| 平成27年度 | 14 | 「縄文人のくらしを探れ!」 |
| 平成28年度 | 15 | 縄文土器写生大会 コラボ縄文ワールド開設1周年記念 |
| | 16 | 「集え!未来の考古学者たち!」 |

第15回 「縄文土器写生大会コラボ縄文ワールド開設1周年記念」 平成28年10月8日(土)

内 容：縄文ワールドに展示してある縄文土器を写生、作品をもとにキーホルダを作成

参加者：小学生7名保護者5名



写生大会の様子



作品は縄文ワールド内で約1か月間展示

第16回 「集え!未来の考古学者たち!」

平成28年10月29日(土)

内 容：千田北遺跡の体験発掘

参加者：小学生および保護者29名



体験発掘の様子



遺物見学の様子

(4) 市民ふるさと歴史研究会 「縄文晩期に北陸地方が繁栄したのは何故か」

金沢市では、縄文時代晩期の貴重な資料を適切に保管し、広く一般に展示・公開する施設として、平成27年度に金沢市埋蔵文化財センター内に「金沢縄文ワールド」を開設した。主な展示内容は縄文時代晩期のチカモリ遺跡から発見された環状木柱列の館内再現とこれに関する映像ガイダンス、縄文時代晩期中屋サワ遺跡から出土し、重要文化財の指定を受けている土器、石器、木製品である。

平成28年度は昨年度に引き続き、縄文時代をテーマとした講演会を市民ふるさと歴史研究会として開催した。

講師の泉拓良氏は、縄文時代の土器の編年や遺跡調査に関する第一人者で、真脇遺跡（能登町）や桜町遺跡（富山県小矢部市）などをフィールドにした竪穴住居の復元プロジェクト等で指導・助言を行っている。講演では、北陸地方に集中する環状木柱列の実態や、金沢近郊の縄文時代晩期の遺跡が繁栄した背景について直近の研究事例等を交えた報告があった。また、1階展示室を会場とした展示品の解説会では盛んな質疑応答が行われた。今後も積極的にこのような機会を設け、金沢における縄文文化の発信に努めていきたいと考えている。

実施日：平成28年11月5日（土）

午後1時30分～午後3時30分

講師：泉 拓良 氏（京都大学大学院教授）

会場：金沢市埋蔵文化財センター

2階 映像学習室

参加者：64名



泉拓良氏の講演

＜過去10年の事業実績＞

| 実施年度 | タイトル | 講師 |
|--------|---|--------------------|
| 平成19年度 | 「金沢の城下町遺跡は語る」 | 市職員報告 |
| 平成20年度 | 「水辺に暮らす縄文人」 | 山本 直人 氏 |
| 平成21年度 | 「加賀八家本多家の歴史」 | 本多 政光 氏 |
| 平成22年度 | 「玉つくりから見る金沢の古墳時代」 | 河村 好光 氏 |
| 平成23年度 | 「加賀八家墓所からみる近世の社会」 | 宇佐美 孝 氏 |
| 平成24年度 | 「縄文の技と美 ～金沢市指定文化財中屋サワ遺跡の出土品特別公開」 | 岡村 道雄 氏 |
| 平成25年度 | 「もうひとつの前田家墓所 ～天徳院・高岡市前田利長墓所」 | 廣瀬 勇也 氏 宇佐美 孝 氏 |
| 平成26年度 | 中屋サワ遺跡出土品重要文化財指定記念シンポジウム「石川における縄文晩期の技術」 記念講演「縄文時代の工芸技術」 | 原田 昌幸 氏 |
| 平成27年度 | 縄文ワールド開設記念講演会「縄文時代の木の文化」 | 山田 昌久 氏 |
| | 国史跡指定シンポジウム「戦国の城と道の実像を探る」 記念講演「加越国境城跡群の歴史的意義」 | 千田 嘉博 氏 |
| 平成28年度 | 「縄文晩期に北陸地方が繁栄したのは何故か」 | 泉 拓良 氏 |

(5) 史跡活用事業

一般市民に郷土の歴史・文化と埋蔵文化財についての理解を深めてもらい文化財愛護の精神を培うことを目的として各種イベントを開催している。対象は小学生から中学生およびその保護者を主とし、親子がふれあう機会を提供する場にもなっている。各イベントの実施概要は以下のとおりである。

なお、開催にあたっては石川県史跡整備市町協議会から助成金をうけている。

【史跡フェスタみわ】

国指定史跡東大寺領横江荘遺跡上荒屋遺跡の奈良・平安時代の初期荘園の風景を再現した上荒屋史跡公園を会場に、奈良・平安時代の生活体験イベントを平成9年度より行っている。今年度は雨天により三和公民館を会場として実施した。

実施日時：平成28年7月16日（土）

午前9時30分～12時30分

主な内容：古代衣装試着体験 古代食試食体験
火起こし体験 勾玉作り 土器作り
繭糸取り体験 土器・パネル展示等

参加者：120人

委託先：金沢市三和公民館振興協力会



土器作り体験（史跡フェスタみわ）

【チカモリ縄文まつり】

国指定史跡チカモリ遺跡の縄文時代の遺構を復元したチカモリ遺跡公園を会場に、縄文時代の生活を体験するイベントを平成7年度より行っている。

実施日時：平成28年8月7日（日）

午前9時30分～午後2時

主な内容：火起こし体験 勾玉作り 土器作り
縄文食試食体験 クルミ割り体験
貫頭衣試着体験 ハンターゲーム
縄文時代クイズ等

参加者：300人

委託先：金沢市西南部公民館振興協力会



火起こし体験（チカモリ縄文まつり）

(6) 石川中央都市圏北部地区史跡探訪会

金沢市は、石川中央都市圏（金沢市、白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町）における連携中枢都市圏を形成し、4市2町の連携によって「石川中央都市ビジョン」を推進している。

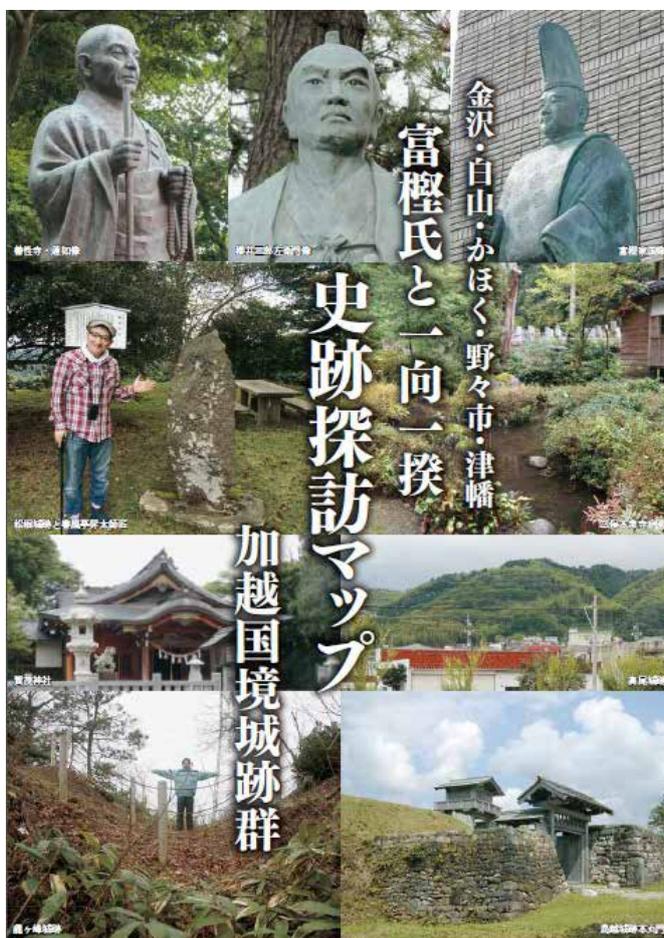
石川中央都市圏は、縄文時代から江戸時代までの史跡や考古資料などを多数抱えているが、これまでは各市町が単独で活用することが多かった。これらの歴史遺産について、連携して魅力を向上させ、全国に発信するために石川中央都市圏における歴史遺産の活用を実施している。平成28年度は、加賀守護である富樫氏と加賀一向一揆及び加越国境城跡群及び道に関する史跡探訪マップを作成し、北部地区の探訪会を実施した。探訪会は、金沢駅からマイクロバス2台で出発し、金沢市松根城跡（国史跡）、津幡町津幡城跡（町史跡）、津幡ふるさと歴史館「れきしる」、鳥越弘願寺跡（町史跡）、かほく市上山田貝塚（国史跡）を見学した。見学箇所では、各自治体の文化財担当職員が解説し、40名の参加者は郷土の歴史に理解を深めた様子だった。



探訪会の様子（松根城跡）



探訪会の様子（松根城跡）



富樫氏と一向一揆・加越国境城跡群 史跡探訪マップ

4. 組織

平成 29 年 3 月 31 日現在



平成 28 年度
金沢市埋蔵文化財調査年報

平成 29 年 4 月 30 日発行

発行 金沢市

編集 金沢市埋蔵文化財センター

〒 920-0374

金沢市上安原南 60 番地

TEL : 076-269-2451

FAX : 076-269-2452

Mail : maibun@city.kanazawa.lg.jp

